

「新・町田市子どもマスタープラン」 2018年度実績

2019年5月23日
子ども総務課

新・町田市子どもマスタープラン施策体系

1. 基本理念 子どもが自分らしく安心して暮らせるまちをみんなで創り出す

2. 基本的な視点

(1)一人ひとりの子どもの権利実現の視点

(2)子どもと親がともに成長する視点

(3)地域の中で家族を孤立させない視点

(4)市民(子どもと大人)と行政の協働を進める視点

コード

3. 施策体系

基本目標Ⅰ：子どもが健やかに育ち一人ひとり自分の中に光るものを持っている

重点目標1：子どもの遊びや体験が大切にされ、主体的に参加し意見表明できる

- 個別目標(1)：コミュニケーション能力を育てる
- 個別目標(2)：参加と意見表明の場や機会をつくる
- 個別目標(3)：子どもの悩みに対処する体制の充実

1	1	1
1	1	2
1	1	3

重点目標2：大人になっていく力をつける

- 個別目標(1)：幼児教育・保育の充実
- 個別目標(2)：学校教育の充実
- 個別目標(3)：思春期の子どもの心と身体健康教育
- 個別目標(4)：体験活動の充実

1	2	1
1	2	2
1	2	3
1	2	4

基本目標Ⅱ：子どもが安らいでいる家族があり、家族が地域とつながっている

重点目標1：親子の健やかな子育て・子育てを切れ目なく支える

- 個別目標(1)：親スタート期を支える
- 個別目標(2)：子育て期を支える
- 個別目標(3)：男女共同の子育てを進める
- 個別目標(4)：親の悩みを支える

2	1	1
2	1	2
2	1	3
2	1	4

重点目標2：親が働くことを支える

- 個別目標(1)：保育支援の充実
- 個別目標(2)：サービスの質の向上と効果的・効率的な提供の充実

2	2	1
2	2	2

重点目標3：きめ細やかな支援が必要な家族を支える

- 個別目標(1)：障がいのある子どもと家族への支援
- 個別目標(2)：ひとり親家庭・貧困への支援
- 個別目標(3)：外国籍家族への支援
- 個別目標(4)：被虐待児と家族への支援

2	3	1
2	3	2
2	3	3
2	3	4

重点目標4：一人ひとりに情報が確実に届く

- 個別目標(1)：子どもと親への情報の確保

2	4	1
---	---	---

基本目標Ⅲ：子どもが地域の中で大切にされている

重点目標1：人と人が関わりつなげる場をつくる

- 個別目標(1)：地域の人材育成と人材活用
- 個別目標(2)：地元事業所・商店の関わり
- 個別目標(3)：体験できる場の充実
- 個別目標(4)：交流できる場の充実
- 個別目標(5)：子どもセンター・地域子育て相談センターを中心とした地域づくり

3	1	1
3	1	2
3	1	3
3	1	4
3	1	5

重点目標2：みんなで安全・安心のまちをつくる

- 個別目標(1)：子どもの安全・安心の確保
- 個別目標(2)：子育てしやすいまちづくり

3	2	1
3	2	2

【 主 な 取 組 】

施策コード ※別シート参照	所管課	事業名	事業の概要	対象	指標	2018年度				2019年度	子どもの参画の有無	備考	
						目標	実施状況	結果	評価	目標 (計画上)			
1	1	1 児童青少年課 (子どもセンター)	子どもセンター事業	キャンプやスポーツなど、さまざまな体験を通じて、子ども同士から大人まで幅広く交流し、コミュニケーション能力をはぐむ場を提供します。	0～18歳とその保護者	利用者満足度 (%)	88	子どもセンターばおでは、防災段ボール合宿を実施しました。子ども同士協力しながら、限られたものを活用し一晩を過ごすことができました。その他、各子どもセンターにおいても、大地沢青少年センターでの宿泊キャンプやボランティア指導による調理活動など、様々な体験の機会を提供いたしました。	90	子どもセンター事業を通して、子ども同士から地域の大人まで、様々な年代の方が交流する機会となり、満足度も目標を上回りました。今後も、地域の方に協力をいただきながら、様々な方と交流できる機会を増やしていきます。	(90)	運営	一部イベントについて参画
1	1	1 児童青少年課 (ひなた村)	ひなた村イベント事業 (大規模イベント)	野外体験など集団活動を通じて、思いやりや協調性、コミュニケーション能力を育みます。	青少年とその保護者・指導者	利用者満足度 (%)	78	春のひなた村まつり、フレッシュコンサート、ひなた村祭、人形劇公演、もちつきを楽しもう会、創作童話コンクール表彰式の6イベントを開催し延べ8,061人が参加しました。	81.3	6イベントでアンケートを実施し、平均81.3%が満足との結果が出ました。2019年度からは指定管理者がイベントの企画運営及び利用者満足度の測定を行います。	(80)	運営	一部イベントについて参画
1	1	2 児童青少年課 (子どもセンター)	子どもセンター事業 (子ども委員会)	子ども委員会では、子どもたちが主体的にルールづくりやイベントの企画・準備・運営などについて考え、活動します。	小学3年生～18歳	委員数(人)	100	各センターで月に2～3回程度、開催しています。館内の問題における解決策の検討や周年、季節ごとのイベントの企画運営等を行いました。	135	委員数は、目標を上回りました。今後も委員会の出席率が上がることで、中高生になった委員が継続して参加してもらえるような活動となるよう実施していきます。	(100)	企画・運営	
1	1	2 児童青少年課 (ひなた村)	ひなた村イベント事業 (コンサート等)	市内の小学生～高校生の部活動の発表の場として開催している音楽会です。出演者自らが運営・進行を行うことにより自主性を育てるとともに、他校との演奏交流による相互成長を目的とします。	市内の小中学校、高校の音楽部等	参加校数(校)	18	7/7・8の2日間、参加者による実行委員会方式でフレッシュコンサートを開催しました。小学校から大学まで16校、23団体の参加があり、参加者、観客併せて1,603人が来場しました。	16	参加団体数は目標数を超えています。同じ学校の複数の部の参加があり、参加校数は16校に留まりました。2019年度から指定管理者が事業を企画・実施するため、本事業は廃止し本事業に代わる子どもの参画事業を実施する予定です。	(19)	運営	廃止
1	1	3 教育センター	教育相談	来所相談、電話による相談、出張相談の3つの相談形態があります。不登校、集団不応、友人関係、発達に関すること、学習に関すること、生活面に関すること、いじめ、体罰等、学校生活や家庭生活等に関する問題について相談に応じます。	市内児童・小・中学生及び高校生とその保護者	利用者満足度 (%)	78	土曜日の教育相談や、専門医・専門家による相談を実施しました。また保護者や教員を対象に、児童・生徒の心の問題や学習障がいに関する講演会(教育相談講座)を行いました。	67	相談者を対象としたアンケートでは、全体として「満足」と答えた方の割合は67%となりました。「やや満足」と回答した方を合わせると99%となり、多くの方から肯定的な評価を得ることができました。相談内容の複雑化に伴い、学校をはじめとした各種関連機関との連携を充実させること、及び引き続き各相談員の課題解決能力の向上に向けた取組みをさらに継続していきます。	(80)	なし	
1	1	3 子ども家庭支援センター	子どもとその家庭からの総合相談	0歳～18歳未満のお子さんとその家庭の相談を受けます。必要に応じて各種情報の提供、専門機関やサービスの紹介・調整をし、問題の解決に向けたサポートを行います。	0歳～18歳未満のお子さんとその家庭	相談件数(件)	3,074	3,607件の子育てに関する相談を受けました。相談者の話を聞き、助言及び必要な情報の提供、サービスの紹介・調整を行いました。	3,607	相談者のニーズに合わせた子育て支援サービスにつなげています。相談件数は前年度より増加しています。引き続き問題解決のサポートを充実させていきます。	(3,381)	なし	

施策コード ※別シート参照	所管課	事業名	事業の概要	対象	指標	2018年度				2019年度	子どもの参画の有無	備考		
						目標	実施状況	結果	評価	目標 (計画)				
1	2	1	子ども発達支援課 子ども発達センターの地域支援	幼稚園・保育園等を対象に専門的な力量を向上させるため、研修及び助言を行います。	出張相談の申し込みがあった幼稚園・保育園等	実施回数(回)	60	幼稚園・保育園・認定こども園に訪問して、出張相談を62回、保護者の依頼に基づく保育所等訪問支援を75回実施しました。	137	特定のお子さんを対象とした相談やクラス運営に関する相談等、園や職員の支援を行いました。また、集団での適応を促すため、保護者に計画相談で保育所等訪問支援の利用を促すとともに、幼稚園・保育園等にも周知を行いました。その結果、保護者からの依頼で行う保育所等訪問支援の利用が増えました。	(65)	なし		
1	2	1	保育・幼稚園課	職員のスキルアップ研修	学校教育・保育施設協会	実施回数(回)	6	保育園協会4回、幼稚園協会3回実施しています。	7	年7回実施された研修を支援することができました。引き続き、教育・保育の質の向上のため支援していきます。	(6)	なし		
1	2	2	指導課	学力向上推進プラン	国や東京都の学力調査の結果などから、小・中学校の児童・生徒の学力状況を多面的に分析し、小・中学校全体で学力向上推進プランを策定及び推進します。	策定・推進	第3次学力向上推進プランの策定	新学習指導要領の内容に沿った「学力向上推進プラン第3次」の策定を行い、学力向上推進委員会において新学習指導要領の趣旨に対応する取組や主体的、対話的で深い学びを実現する授業を行える取組を推進しています。	策定	学力向上推進プラン第3次を策定しました。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進するために授業デザインのポイントを押さえられるようになりました。また、小学校外国語活動の充実、ICT機器を活用した情報活用能力の育成等を柱に全小中学校での取組を推進しました。	(推進)	なし		
1	2	2	指導課	小中一貫教育・町田っ子カリキュラム	教育委員会では、2008年度から市立全小・中学校を町田市独自の重点カリキュラムでつなげる全市型の小中一貫「町田っ子カリキュラム」と、地域ごとに課題を明確化し、共有しながら、その解決に向けて小・中学校が連携して指導を図る地域型の「小中一貫指導推進校」のふたつの取り組みを軸とした「小中一貫教育」を実施しています。「町田っ子カリキュラム」は、規範意識やコミュニケーション能力を高めながら、働くことや学ぶことの大切さを実感し、心身ともに健康で、進んで社会に関わろうとする子どもたちを育てていくことを目標にしています。また、小・中学校全校で、小中一貫教育(規範教育、英語教育、キャリア教育、食育)カリキュラムにより、授業を実施します。	市立小・中学校、全児童・生徒	カリキュラムの検証及び改善の実施	カリキュラムの改訂	現在、小中学校全校において(規範教育、英語教育、キャリア教育、食育)カリキュラムにより、授業を実施しています。また、全校で教育課程において、町田っ子カリキュラムの取組について計画し取り組むよう、位置付けています。2018年度は「町田っ子カリキュラム」において規範教育、健康教育、キャリア教育について大幅な見直しを行いました。	策定	全校で年間を通して教育課程に位置付けた取組を進め、小学校から中学校卒業までの9年間を見通した指導に生かされました。また、新学習指導要領が告示された関係で、町田っ子カリキュラムの改訂・見直しに伴い、規範教育は2017年度に改訂したカリキュラムを活用し、教育活動を進めました。健康教育(食育)、キャリアに関しては、検討委員会を組織し、改訂しました。	推進 (カリキュラムの検証及び改善の実施)	なし	
1	2	4	大地沢青少年センター	大地沢青少年センター事業	子どもや親子で参加できる工作やハイキング、陶芸教室などさまざまな体験活動を実施します。また、川上村での林業・農業体験、宿泊事業なども実施します。	主に市内在住・在学の小学生とその親	利用者満足度(%)	80	木工作やハイキング等、子どもや親子で参加できる体験活動のイベントを、計28回実施しました。	84.0	集客力が低いイベントの内容変更を行い集客力を上げる等、魅力ある企画運営に努めました。その結果、アンケートで高い満足度の回答を得られました。引き続き、さまざまな体験活動を実施します。	(80)	なし	
1	2	4	児童青少年課	子どもセンター事業	調理、陶芸、工作、中高生ライブなど、さまざまな体験活動を実施します。	幼児～18歳	利用者満足度(%)	88	子どもセンターまあちでは、中高生の企画運営で、音楽ライブを実施いたしました。中高生企画の活動は、小学生や幼児の子どもたち、その保護者にも好評で、子どもセンターならではのつながりができる機会になりました。	90	各子どもセンターでは、子どもたちの意見を取り入れた体験活動を行い、満足度も目標を上回りました。今後も、子どもたちがやってみたい活動を実施していけるよう、子どもたちの声に耳を傾け、実施してまいります。	(90)	企画・運営	一部イベントについて中高生が参画

施策コード ※別シート参照	所管課	事業名	事業の概要	対象	指標	2018年度				2019年度	子どもの参画の有無	備考		
						目標	実施状況	結果	評価	目標 (計画)				
1	2	4	児童青少年課 (ひなた村)	ひなた創作教室 事業	工作教室や野外体験など、さまざまな体験活動を実施します。	青少年とその保護者	実施数(回)・参加者数(人)	120・2,500	デイキャンプや焚き火などの野外体験や陶芸、工作などの創作体験、一輪車やキンボールなどのスポーツ体験、科学体験など35種類の体験講座を実施しました。	204・3,129	2019年度から指定管理者による運営に切り替わります。今後は指定管理者が、野外体験のほか創作体験や担い手育成等の分野において、多様な体験の機会を提供していきます。	(120・2,500)	なし	
2	1	1	保育・幼稚園課 子育て推進課 保健予防課	利用者支援事業* (出産・子育て応援事業)	全ての子育て家庭に対して、妊娠から市の専門職が関わり、子育て期まで切れ目なく支援を行います。 全ての妊婦を対象として専門職が面接を行い、心身の状態や子育て支援のニーズ等を把握します。支援を要する者に対して支援プランを作成し、効果検証を行い、就学前まで支援します。 また、関係機関と連携し、出産後も子育てに係る施設や事業等の情報を提供し、支援を継続します。	【母子保健型】 妊婦及び0歳～就学前 【特定型・基本型】 0歳～就学前	実施	【特定型】 保育所等の利用希望のある家庭や入所保留となった家庭等に対して、家庭状況を確認して、各家庭に適した施設の選び方、施設の空き状況等の案内を行うことなどにより、入所につながるよう支援しました。2018年度は延べ404人の相談があり、相談者一人ひとりに合った支援プランを作成し情報の提供を行いました。なお、各保育施設や関係機関に出向きながら現場の情報を収集することで、より細やかな情報を提供できるようになりました。また、地域の子育てひろば等において保育の入所申込等の出張講座を12回開催し、254人の方が参加し、保育施設や事業等の選び方、施設情報を提供しました。 【基本型】 利用者からの相談に対してや、ケアを要するケースに対する関係機関との情報共有を延べ1,191回行いました。また、母子保健型と60回の会議を行い連携体制を強化しました。 また、市内保育園で企画するプレママ対象のイベント情報を集約し、チラン400部を、保健所の「子育てたっぷりサポート面接」の場、市民病院、市内の保育園等で布置しました。 【母子保健型】 妊婦への面接の実施により、妊娠期より支援を必要とする者の把握ができ、早期からの相談・支援体制の強化を図ることができました。 ・面接件数:2,481件 ・支援計画作成件数:210件 ・妊娠期より関係機関との連携した妊婦の人数:23人	実施	【特定型】 園訪問による情報収集や出張講座を行い、より細やかな支援を実施することができました。引き続き、子育て家庭に寄り添い、関係機関とも連携しながら、情報の提供を行い、利用者の支援を継続していきます。 【基本型】 各関係機関との情報共有、その他連携により、利用者に切れ目のない支援を提供することができました。今後も、更に連携し、よりきめ細かい利用者支援に繋げていきます。 【母子保健型】 面接の実施により、妊婦の不安軽減を図り、安心して出産・子育てができるよう支援を行いました。また、妊娠期より支援を必要とする者の把握ができ、早期からの支援ができました。	特定型 基本型 母子保健型	なし		
2	1	1	保健予防課	両親学級	初めての子どもを妊娠・出産し子育てを始めるにあたり、父親が母親の育児支援ができるように、父親の参加を促します。	妊婦とその夫	父親の参加人数(人)	320	父親が参加しやすい土曜日に両親学級12回を開催し、393名の父親参加がありました。	393	父親参加が昨年度から増加しており目標を達成できました。	(330)	なし	

施策コード ※別シート参照	所管課	事業名	事業の概要	対象	指標	2018年度				2019年度	子どもの参画の有無	備考	
						目標	実施状況	結果	評価	目標 (計画)			
2	1	1 子ども家庭支援センター	育児支援ヘルパー事業	出産後育児、家事等の援助を必要とする母に対し、ヘルパーを派遣することにより、育児の身体的及び精神的負担の軽減を図ります。	出産し退院した翌日から最大2歳の誕生日前日までの子どもがいる母。(三つ子以上は満4歳の誕生日前日まで。)	利用者数(世帯)	165	134件の出産後に支援が必要な母に対し、ヘルパーを派遣し、母の育児負担・不安の軽減を図り、子育ての支援を行いました。	134	前年度と比べ、利用者数は減少しましたが、生後2か月以降(多胎は1年毎)の利用時間は前年度より増加、本事業の目的に沿った適切な内容での派遣が出来るよう、利用者、事業所と定期的な状況確認を行いました。	(171)	なし	
2	1	2 生涯学習センター	家庭教育支援事業	子育てをしている親が、家庭教育や子育てに関する不安を解消するとともに、子育てを通じた仲間づくりにつなげられるよう、さまざまな学習の機会を提供します。	乳幼児～中学生までの子育て中の保護者	実施延べ回数(回)	139	ひろば、講座、学級といった様々な形式での学習機会を提供しました。年間で延べ143回実施し、延べ1,815人が参加しました。	143	学習活動を終了した受講生がサークルとなりし、今後の家庭教育支援事業にボランティア参加等することになりました。	(139)	なし	
2	1	2 保健予防課	各種乳幼児健康診査	各健診で乳幼児の健康増進、疾病の早期発見と保護者への育児支援を行います。	3ヶ月児～3歳児	受診率(%)	96 (※3～4か月健診)	身体発育・精神発達の重要な時期に健康診査を実施しました。2018年度受診率(3～4か月児:97.3%、1歳6か月児:91.4%、3歳児:92.8%)	97.3	健診を実施することにより、乳幼児の健康増進、疾病の早期発見と保護者への育児支援を行うことができました。なお、未受診者に対しては、電話連絡や訪問等により、養育環境等を把握しています。	(100)	なし	
2	1	2 子育て推進課	親支援プログラム事業	子育て中の保護者向けの連続6回の講座を実施することで、保護者の養育力の向上を図り、保護者同士の交流の機会を提供します。毎年、新たな参加者を募り、支援を広げていきます。	乳幼児の保護者	参加者数(人)	36	第1子の2～5か月の子を持つ母親を対象にしたBPプログラム(親子の絆づくりプログラム・4回連続講座)は、その有効性の評価から各地域子育てセンターで年1回ずつ行いました。NP(ノーパディーズ パーフェクト)、CSP(ボーイズタウン コモンセンス・ベアレンティング)事後報告会含め、各5回ずつ行いました。また、NP、CSPの講座中の保育を、講座受講者OGが担うことも定着してきました。	75	過去の講座参加者が、社会参加への自信を付け、その後、サークル活動やボランティア活動、保育士資格取得を目指す等、積極的に活躍しているとの報告を受けています。講座は、育児力を向上させるだけでなく、地域人材の育成・協力体制の構築にも繋がっています。	72 (36)	なし	
2	1	3 児童青少年課(子どもセンター)	子どもセンター事業	父親向けの育児講座等を通じて子育ての楽しみを味わい、育児参加を促します。	乳幼児とその保護者	実施回数(回)	16	子どもセンターばあんでは、父親ボランティアの企画運営による「ばあんでファミリー」を実施しています。地域の他の親子との活動を通して、気軽に楽しく子どもとの関わりを持てる事業になりました。	23	事業の参加にとどまらず、父親同士や家族ぐるみのコミュニティができるきっかけになりました。今後も、育児参加から地域社会へつながる機会となるよう事業を実施していきます。	(24)	なし	ボランティア企画実施
2	1	4 子ども家庭支援センター	しゃべり場(育児支援事業)	孤立している家庭への母親育児支援事業として「子育てママのしゃべり場(定員10名)」を年12回開催します。	乳幼児を子育て中の保護者(保育あり)	参加率(%)	92	「共感・共有の場」の提供により、悩める母親自身のストレスの解消を行っています。市内5地域9ヶ所で11回開催しました。 ※台風により1回(1会場)中止となりました。	50.9	計56名の参加がありました。参加者数の地域差は見られますが、定員以上の希望があり、抽選となった回もありました。参加者の37.5%がリピーターで、継続した参加につながっています。	(100)	なし	
2	2	2 保育・幼稚園課	送迎保育ステーション事業【新規事業】	駅近くの利便性の良い箇所で一時的に乳幼児を預かり、入所している教育・保育施設等へ送迎を行い日中は各施設で保育を行います。夕方以降親のお迎え時間に、送迎ステーションへ送迎します。	1歳～就学前まで	利用延べ人数(人)	1,000	2017年10月に開所し、延べ7,250人の利用がありました。利用希望者の増加に伴い、車両の増車などを行い、2018年4月から定員を20人から30人に10人増加しました。	7,250	町田駅近辺の保育ステーションから児童を送迎することで、定員に余裕のある保育所等を利用できるようになり、保護者の選択肢を増やすことができました。周知に努め利用希望が増えたことにより、2018年4月から定員を10名増やしました。	5,000 (1,000)	なし	

施策コード ※別シート参照	所管課	事業名	事業の概要	対象	指標	2018年度				2019年度	子どもの参画の有無	備考	
						目標	実施状況	結果	評価	目標 (計画)			
2	3	1 子ども発達支援課	発達に遅れや心配のある子どもに対する療育	心身の発達に遅れやその心配のある乳幼児の発達を促すため、療育・助言を行い、通園児数の拡大を図ります。	専門的な支援が必要な乳幼児	週5日の認可通園児数(人)・週1日の認可併行通園児数*(人)	44・18	認可通園44人、週1日通園18人。	44・18	2018年度は、肢体不自由児と医療的ケア児を含めた週5日通園と保育園・幼稚園等と併用した週1日通園を3グループ行いました。 *週1日の認可併行通園は6人1グループです。	(44・18)	なし	
2	3	1 子ども発達支援課	保護者に対する発達に関する相談及び支援	心身の発達に遅れやその心配のある乳幼児を持つ保護者からの相談を受け、助言を行います。	発達に心配のある子どもの保護者	研修会の実施回数(回)	29	保護者向け研修会を7回、市民向け地域公開講座を1回、子育てひろば参加14回、全10回シリーズのペアレントトレーニングを2クール実施しました。	42	子ども発達センターから地域に向き、育児講座や相談に対応しました。また、市民対象の育児講座には保育も行き、52人参加していただきました。 8人で行うグループ研修のペアレントトレーニングは2クール計20回行いました。	(29)	なし	
2	3	2 子ども家庭支援センター	ひとり親相談	ひとり親家庭の生活全般に関する相談を受け付けます。	ひとり親家庭(準ずる家庭を含む)の母または父	相談件数(件)	2,300	ひとり親家庭の生活全般に関する相談を受け、就労支援等の世帯の自立に向けたサービス提供や情報提供を行いました。	3,231	ひとり親家庭の相談の増加に伴い、引き続き、必要に応じて関係機関と連携し適切かつ正確な情報提供や助言ができるよう取り組みます。	(2,350)	なし	
2	3	2 子ども家庭支援センター	ひとり親家庭の就労支援	就業を目的として講座や訓練を受講する場合に給付金を支給します。また、それぞれのニーズに応じて個別計画書を作成し具体的な就労につながるよう支援します。	児童扶養手当を受給している母または父	就職率(%)	90	教育訓練給付金受給者8名中6名、高等職業訓練終了支援給付金受給者7名中5名、自立支援プログラム策定者22名中16名が就労しました。	72	教育訓練については2名が講座指定を受けて受講中、高等職業訓練については15名が促進訓練給付金により受講継続、プログラム策定については4名が支援を継続しています。	(100)	なし	
2	3	2 子ども家庭支援センター	ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業	就労・技能習得等のため一時的に生活援助や子育て支援が必要な場合や、ひとり親となり生活環境の激変のため日常生活を営むことに支障が生じている場合等にヘルパーを派遣します。	義務教育終了前の児童のいるひとり親家庭	利用者数(人)	12	夜間休日の就労・技能習得など、子の保育ができないひとり親家庭に対し、延べ835回ヘルパーを派遣しました。	15	保育園・学童などで賅えない時間帯の補完的保育や、生活環境の激変時の生活支援など、ひとり親家庭の自立支援としてニーズが高まっています。	(13)	なし	
2	3	3 教育センター	日本語指導	市立小・中学校に在籍する外国籍児童・生徒及び帰国児童・生徒のうち、希望者に対して、国際交流センターと連携し、日本語指導を中心とする特別指導・相談を行います。	小・中学生	利用者数(人)	60	保護者や学校と相談しながら当該児童・生徒の実態に合わせ、日常生活に必要な初歩的な日本語指導を行いました。	46	保護者や学校、本人と相談しながら、日常生活に必要な初歩的な日本語指導を、延べ2,313単位時間実施できました。	(60)	なし	
2	3	4 子ども家庭支援センター	子育て支援ネットワーク会議	虐待を受けている子どもをはじめとする要保護児童の早期発見や適切な支援を図るため、関係機関等の円滑な連携協力を確保します。	子育て支援ネットワーク会員	参加率(%)	97	5地域14地区で合計48回開催し265機関が参加しました。要保護家庭、要支援家庭、特定妊婦に適切な支援を図るため、延べ869人の子どもについて、情報交換を行いました。	81	地域での定期的な情報交換を通じて、要保護家庭、要支援家庭、特定妊婦に適切な支援を図っています。情報交換を行った子どもの数は昨年度より増加しています。	(100)	なし	
2	4	1 子ども総務課	ほっとメールまちだ	子ども向けのイベントや、子育て支援情報等をメールにて配信します。	子育て中の保護者	延べ登録者数(人)	35,476	子ども向けのイベントや、子育て支援情報等をメールにて配信しました。	37,649	引き続き、子育てサイト等にて周知を図ると共に、配信内容の充実を図ります。	(37,534)		

施策コード ※別シート参照	所管課	事業名	事業の概要	対象	指標	2018年度				2019年度	子どもの参画の有無	備考	
						目標	実施状況	結果	評価	目標 (計画)			
2	4	1 子育て推進課	子育てひろばカレンダー	各保育園のイベント情報等を市内5地域に分けて紹介する情報紙を発行しています。毎月25日に最新号を発行し、記事の掲載がある保育園や各公共施設等で配布します。	乳幼児及びその保護者	配布部数(部)・場所(か所)	10,400・165	毎月25日に最新号を発行し、記事の掲載がある保育園や各公共施設等で配布しました。幼稚園の地域向けイベント等、掲載機関を増やしました。	8,706・208	地域子育て相談センターのアウトリーチやニーズ調査の取り組み等により、布置場所が増えました。残数等をもとに、各布置場所にて調査し、部数の見直しを行いました。	10,000・220 (10,400・165)	なし	
2	4	1 子ども総務課	まだだ子育てサイト	これまで、町田市ホームページで発信していた子育て世帯向けの情報を、より「分かりやすく」「見やすく」「検索しやすく」提供していきます。「目的」、「年齢」、「施設」などの切り口から、検索する入口を設けることによって、直感的に知りたい情報を調べることができます。	妊婦～18歳未満の保護者とその子ども	アクセス件数	3,000,000	子育てサイトに関係する部署との運営管理定例会で、見る人に伝わりやすい子育てサイト作りについて周知するなど、各課が掲載しているページの見直しを提起しました。また、名刺サイズのチラシの窓口配布など、子育てサイトの周知活動を行いました。	2,642,750	目標値は下回りましたが、昨年度に比べ年間でアクセス数が約60万件増えています。より多くの方に見ていただけるよう、引き続き周知活動を強化し、他の課にも情報発信を行ってもらえるよう呼びかけていきます。	27,000,000 (3,200,000)		
3	1	1 児童青少年課 (子どもセンター)	子どもセンター事業	地域団体や大学と連携し、さまざまなイベントを実施します。	0～18歳とその保護者	協力団体数(団体)	64	子どもセンターただONでの桜美林大学による「博物館ごっこ」をはじめ、各子どもセンターでは、夏休みを中心にそれぞれの団体や大学の専門性を活かした連携事業を実施しました。	88	つながりを持つことができた地域団体や大学は、年々増加しています。今後も、様々な団体や大学と、子どもたちや子育てをしている方がつながれる機会を提供していきます。	(72)	企画・運営	
3	1	1 児童青少年課 (ひなた村)	ひなた村創作教室事業 (指導者向け講座、協働講座)	青少年指導者向けの指導技術の向上を目的とした講座、及び指導者団体との協働による講座を実施します。	青少年指導者・団体 青少年とその保護者	実施回数(回)・参加者数(人)	24・460	指導者向け講座としてキャンパスキルワークショップを2回開催し、合計で5人が参加しました。また、町田市少年少女発明クラブ、まだだ実験隊、町田わくわくサイエンスと協働で科学クラブを12回開催し、331人が参加しました。	14・331	指導者向け講座は参加者数の向上を図るため、需要にあった講座を開発していく必要があります。2019年度から指定管理者による運営に切り替わりますが、指導者育成事業は引き続き実施する予定です。	(24・480)	なし	
3	1	2 児童青少年課	子どもセンター事業	町内会や地元事業所と協働でイベントを実施します。	青少年団体、青少年指導者団体 および町内会 PTA	実施回数(回)	18	各子どもセンターでは、開館記念イベントを、青少年健全育成地区委員会や町内会等にご協力いただき、実施しました。地域の多くの子どもたちや大人が交流できるイベントになりました。	43	今後も地域の方々との連携を深め、それぞれの地域特性を活かした協働事業を実施し、子どもたちと地域が関わる機会を増やしていきます。	(18)	企画・運営	
3	1	3 児童青少年課 (ひなた村)	ひなた村創作教室事業 (プログラムサービス)	青少年団体や青少年指導者団体の活動を、工作、スポーツ、野外体験などのプログラムサービスを提供・指導することで支援します。	青少年団体、青少年指導者団体	青少年指導者団体数(団体)	8	町田青空学級中部玉川学園教室、鶴川第二小学校おやじの会がそれぞれ実施する子ども向けイベントに技術提供及び指導を行いました。	2	指導者育成プログラムの周知に力を入れる必要があります。2019年度の指定管理者制度移行に伴いプログラムサービス事業は終了し、今後は指定管理者が新たな団体向けプログラム及び指導者育成プログラムを企画運営していきます。	(10)	なし	
3	1	3 大地沢青少年センター	大地沢青少年センター事業	工作、キャンプ等の野外体験、川上村での林業・農業体験など、さまざまな体験活動ができるプログラムサービスを提供します。また、宿泊施設もあります。	主に市内在住・在学の小学生とその親	利用者満足度(%)	80	大地沢や川上村の豊かな自然を活かしたイベントを、計28回実施しました。	84.0	集客力が低いイベントの内容変更を行い集客力を上げた等、魅力ある企画運営に努めました。その結果、アンケートで高い満足度の回答を得られました。引き続き、魅力あるイベントづくりを通じて、体験できる場の充実を図ります。	(80)	なし	

施策コード ※別シート参照	所管課	事業名	事業の概要	対象	指標	2018年度				2019年度	子どもの参画の有無	備考	
						目標	実施状況	結果	評価	目標 (計画)			
3	1	3 児童青少年課	常設型冒険遊び場	冒険遊び場活動を行う団体を支援し、常設型の設置を拡充します。	児童およびその保護者、その他市民	設置か所数(か所)	3	2019年度に新しく常設型冒険遊び場開所のため、公園緑地課及び地域と調整を行い、設置場所を三ツ目山公園に決定しました。	3	2019年5月の開設に向けて、引き続き、公園緑地課と調整し、活動場所の整備を行っています。また、団体がスムーズに運営を進めていけるようサポートをしています。	(4)	なし	
3	1	4 児童青少年課	子どもセンター・子どもクラブ整備事業	「子どもの成長・発達を促す遊びの拠点」と「核家族化・少子化が進むなかでの子育て支援」を理念とし、市内に5館を目標に子どもセンターを整備します。また、子どもセンター整備完了後、「子どもの居場所の配置に関する基本構想」に基づき、中学校区への子どもクラブ整備を進めます。	児童とその保護者	子どもセンター整備施設数(か所)・子どもクラブ整備施設数(か所)	-・1	「子どもの居場所の配置に関する基本構想」に基づく子どもクラブの整備を進めていましたが、利用者のさらなる安全対策を図るための追加対策等を行ったため、開館が2019年10月となる見込みです。	-・0	より安全に配慮した子どもクラブ整備を進めることで、周辺地域の方の一層の理解を得ることが出来ましたが、年度内の開所を行うことができませんでした。	(-・1)	企画	
3	1	4 児童青少年課	放課後子ども教室(まちとも)	「放課後子ども総合プラン」に基づき、子どもの居場所づくりのため、子どもにとって最も身近な学校を活用した取り組みを進めます。現在、市内42小学校中41校で実施している放課後子ども教室(まちとも)について、自由に遊べる安心安全な居場所として、引き続き学童保育クラブと連携した運営を推進するとともに、学校の教室等を活用した地域団体による運営等、全ての児童が参加できるよう事業内容の拡充を図ります。	小学生	地域団体等による、教室等を活用した運営か所数(か所)・放課後子ども教室と一体的な取り組みを行っている学童保育クラブ数(か所)	6・38	地域団体等の運営による、教室等を活用した放課後子ども教室を8箇所で開催しました。2019年度に、地域団体等による運営を行うまちとも8箇所を選定しました。	18・42	全校で学童保育クラブと一体的な取り組みを行う事が出来ました。2019年度も引き続き、地域団体等の運営による、教室等を活用した放課後子ども教室の実施準備を進めていきます。	26・42 (8・39)	なし	
3	1	5 児童青少年課	子どもセンター事業	子ども会等の地域子ども団体に、調理活動や工作・レクリエーションなどのプログラムサービスを提供し、地域の活性化を支援します。	子ども会他	利用者満足度(%)	88	子どもセンターただONでは、子ども会等の8団体に対してプログラムサービスを実施したほか、各子どもセンターの施設特性や地域性を踏まえ、団体要望に沿ったプログラム支援を実施いたしました。	90	子どもセンターによっては、提供団体数に差があります。今後も周知を積極的に行うとともに、子ども団体に対する支援の手法について情報を共有し検討いたします。	(90)	企画・運営	
3	2	1 児童青少年課	子ども110番の家	子どもが危険に直面した際に緊急避難先として駆け込むことができる建物であることを示す看板の設置を各小学校PTAや自治会・町内会とともに進め、2014年度時点で6,000か所を超えるお宅や施設に設置しています。また、設置だけでなく、実際に駆け込むことができるよう、子どもや団体等を対象に訓練を実施します。	児童、地域住民、PTA、町内会、健全育成地区委員会等	子ども、団体を対象とした訓練数(回)	3	2019年3月、三ツ目山公園にて三ツ目山冒険遊びの会、南大沢警察署にご協力いただき、かけこみ体験訓練を実施いたしました。	1	警察や地域の方々積極的に関わっていただいたこともあり、参加した児童やかけこみ先家庭役となった保護者の方からは、とてもいい経験になったという感想をいただきました。2019年度は、看板設置団体を中心に周知し、より実践的な訓練を実施します。	(3)	なし	
3	2	2 子ども総務課	赤ちゃん・ふらっと	子育て家庭が気軽に外出できるよう、授乳・調乳・オムツ替えができる施設を整備します。	公共施設及び民間施設事業者	設置か所数(か所)	46	公共施設での設置が1か所増えました。また、子育てサイトで設置場所を地図上に表示し、GPSと連動して経路検索ができるようにしました。	54	引き続き、設置を促しながら子育てサイトでの周知を図っていきます。	(49)	なし	

【その他の取組】

施策コード ※別シート参照			所管課	事業名	事業の概要	対象	子どもの参画の有無	実施状況	評価	今後の見通し	理由	備考
1	1	1	高齢者福祉課	高齢者と近隣保育園児等との交流	近隣保育園の園児達が各高齢者福祉センターへ来館し、歌やダンスや劇をセンター利用者の高齢者の方々に披露します。また、高齢者と園児達が一緒に手遊びやゲームを楽しみ、交流を図ります。	けやき館:近隣(こうさぎ保育園)の園児 いちよう館:近隣(大蔵保育園)の園児 くぬぎ館:近隣(山崎保育園)の園児	なし	けやき館では、毎月1回(第3水曜日)、年間12回実施し、毎回高齢者10~15人、園児20人程度が参加しました。いちよう館では、年間8回実施し、毎回高齢者約30~40人、園児約25人が参加しました。くぬぎ館では、インフルエンザ流行等により中止とした回もありましたが、年間6回実施し、合計で117人の園児が参加して高齢者との交流を楽しみました。	核家族や単独世帯が多くなっている中で、世代間のふれあい・交流の機会を地域に確保していく必要があります。館の利用者(高齢者)、園児ともに交流を楽しみにしており、相互にとって良い刺激になっています。	継続		
1	1	1	図書館	子どもの読書活動推進事業	子どもの読書活動を推進するため、「自ら進んで本を読む子を育てる」を理念に、図書館等生涯学習施設と、幼稚園・保育園・学校・子どもセンター等が、ライフステージに合わせた取り組みをします。	乳幼児~高校生ぐら いまで	なし	第三次町田市子ども読書活動推進計画に掲げている32の取組について、各施設がそれぞれの持ち味を活かして事業を行いました。図書館が所管する事業の一例としては、乳幼児から小学生向けに、わらべ歌・ことばあそび・絵本・語りなどを楽しむおはなし会、小学校高学年からYA世代には、ブックトーク、ビブリオバトルを開催しました。その他、保護者対象の読み聞かせ講座、図書指導員・教員向けの図書館利用研修、おはなしボランティア養成講座等を実施しました。	各世代のライフステージに合わせた取組を、それぞれに実施しました。(詳細は、第三次町田市子ども読書活動推進計画の2018年度取組結果として別途公表します)	継続		
1	1	1	図書館 (文学館)	学習事業	読み聞かせや年賀状、はがき作りなどを通じて、「言葉」や「コミュニケーション」を楽しむ活動をボランティアの協力を得て実施します。	乳幼児~小学生	なし	乳幼児向けのおはなし会を43回実施し907人の参加があり、小学生対象の実技講座は7回実施し97人の参加となりました。また、小学校への出前講座を1回実施し13人が参加しました。	ライフステージに応じたイベントを実施することで、言葉への興味を喚起し、コミュニケーションの基本を知る機会を提供できました。	継続		
1	1	1	図書館	図書館事業	読書や文学に親しみ、「言葉」に触れられる講演会や図書案内のブックリストの配布等のさまざまな取り組みを進めています。	乳幼児~	なし	・赤ちゃん、3・4・5歳、新1年生、1・2年生、3・4年生、5・6年生向けおすすめブックリストを配布しました。 ・「としょかん1ねんせい」事業では、図書館に登録・更新の589人に小学校入学お祝いミニプレゼントをお渡ししました。(2016年度605人) ・児童書新刊おすすめリストは年4回、YA世代向け新刊紹介リストは年12回発行し、学校等で配布しました。 ・こどもの読書週間(4/23~5/12)に合わせて、5、6歳から小学校低学年を対象とした読書手帳の配布を開始しました。 ・夏に「POPコンテストまちだ 2018~本は人をつなぐ~」として、中高生・大学生のPOPを募集しました。125点の応募があり、優秀作品にはゼルビー賞、キンシオ草(イラストレーター、キン・シオタニさん推薦図書枠)等を授賞し、読書の推進につなげました。 ・第8回まちだ図書館まつりを3日間実施し、1,266人の参加がありました。(第7回は4日間1,597人)	第三次町田市子ども読書活動推進計画と関連して、様々な取組を進めています。図書館まつりでは、大学生によるイベントの実施、小学生や中高生の読み聞かせ演者としての参加を募り、大人の実行委員会や職員とともにまつりを盛り上げてもらいました。	継続		
1	1	2	図書館 (文学館)	展覧会関連事業	展覧会の内容を子どもたちが自発的に深く知るために実施します。	乳幼児~小学生	なし	春や夏の展覧会の関連イベントとして、おはなし会やワークショップなどを17回実施し361人の参加がありました。また、展覧会の会期中いつでも参加できるクイズやスタンプラリーを行い、1,860人(大人も含む)が参加しました。	子どもたちの自発性を尊重しながら、展覧会の内容を多角的に知る機会を提供することができました。	継続		
1	1	2	文化振興課	各種作品発表、コンクール等	写真展示やパレエ・ピアノなどさまざまなコンクールを開催し、発表の場を提供します。	幼稚園~大人	なし	町田市民ホールにて、ピアノコンクール、パレエコンクールを開催し、ピアノコンクールは延べ1,024人、パレエコンクールは延べ940人の方に参加いただきました。	全国から幅広い年代の参加者があり、一流の審査委員から講評を受けることができました。	継続		
1	1	2	文化振興課 (博物館)	展覧会関連イベント	玉川大学芸術学部&小学生ワークショップ作品によるミニ展覧会を実施します。	小学4~6年生	なし	「まちだ今昔」展の連動企画として、大学生がワークショップを実施し、子どもたちが「未来の町田の自分の店」を作り展示しました。	大学生と小学生が協力し、活躍する教育的機会を提供しました。	継続		
1	1	3	教育センター	e-ラーニング	不登校児童・生徒がパソコンを通じて、桜美林大学が開設する学習支援サイト「学びの広場」にアクセスし、小学校1年生から中学校3年生までの各自の学習したい教科、内容を自主学習できるようにサポートします。	小・中学生	なし	学校に行きにくくなっている小・中学生に、eラーニングドリル教材を提供して、学校外での学習機会、学校復帰の手助けを行っています。	2018年度は46人の児童・生徒がe-ラーニングに登録し、自宅に居ながら自由な時間に自分のペースで学習を行う機会となりました。	継続		

施策コード ※別シート参照			所管課	事業名	事業の概要	対象	子どもの参画の有無	実施状況	評価	今後の見通し	理由	備考
1	1	3	保健予防課	こころの相談	心の相談やアルコールなどの依存症・ひきこもり等の相談に保健師が対応します。	思春期でひきこもりやこころの悩みをお持ちの本人・家族の相談、医療中断や未治療の本人・家族の相談、アルコールなどの依存症に関する本人・家族の相談	なし	保健師が行う健康相談の一環として、精神保健相談を実施しました。また、退院後の支援で、地域で安心して生活できるように、市内医療機関との連携を図りました。相談延べ数：6,524人	関係機関との連携を図りながら相談支援を実施できました。	継続		
1	2	1	3R推進課	資源とごみの出前講座 (幼稚園・保育園)	申し込みのあった園に職員が出向き、幼児にもわかりやすく楽しく、物を大切にすることや分別の大切さを学ぶ講座を実施します。	市内の保育園・幼稚園	なし	紙芝居や歌を使い、楽しみながらごみの減量を学べる講座を行い、物を大切にすること、資源を種類ごとに分けることなど、ごみについて関心を持っていただける内容で実施しました。また、子どもたちが講座内容を家庭で保護者とともに振り返ることができるような文書を作成して、配付しました。市内幼稚園・保育園で64回実施しました。参加人数は7,235人です。	ごみの減量や分別の大切さを感じていただきました。実施した幼稚園・保育園の職員へのアンケート評価でも、平均96点をいただいています。	継続		
1	2	1	3R推進課	資源とごみの出前講座 (小学校)	小学生の環境教育プログラムの一環として、申し込みのあった学校に職員が出向き、3R(リデュース・リユース・リサイクル)の大切さを学ぶ講座を実施します。	市内の小学4年生	なし	3R(リデュース・リユース・リサイクル)の具体的な行動事例をわかりやすく説明し、内容や感想を各家庭に持ち帰っていただき家族と一緒にごみの減量に取り組んでいただけるような内容の講座を実施しました。市内小学校33校で実施、2,951人の参加がありました。	3R(リデュース・リユース・リサイクル)の実践につながる内容で、実施小学校職員の職員へのアンケート評価でも、平均98点をいただいています。	継続		
1	2	2	指導課	一校一取組	各学校の子どもたちの実態にあった運動(なわとび・マラソン・パトンスロー等)を各校で一つ取り上げ、体力向上に向けた取り組みを実施します。	市立小・中学校、全児童・生徒	なし	全小・中学校において、朝の時間や休み時間を活用した活動の工夫や、運動に親しみやすい環境の整備を行い、児童・生徒の運動意欲を高め、体力の向上を図りました。	運動に親しむ環境を整えることで、体育の授業以外にも意欲的に体を動かそうとするなど、運動の日常化につなげることができました。体力向上推進プランに基づき、各学校においてより充実した活動が行えるよう働きかけていきます。	継続		
1	2	2	指導課	小学校1年学級への生活指導補助者派遣	小学校1年生の学級で、児童が規律ある学校生活にスムーズに適応できるよう補助していきます。	小学校1年生	なし	生活指導補助者116人が、4・5月の2か月間、全市立小学校に配置され、小学校1年生が学校生活に適応できるよう補助を行いました。	多くの生活指導補助者が配置されることにより、学校生活に不慣れな小学校1年生の児童を規律ある生活に円滑につなげることができました。	継続		
1	2	2	教育センター	小学校適応指導教室「けやき教室」中学校適応指導教室「くすのき教室」	公立小・中学校に在籍する不登校および不登校の傾向にある児童・生徒に対して、学校復帰の指導および援助を目的として、事業を実施します。	小・中学生	なし	小・中学校の適応指導教室については、教育相談と連携し、児童・生徒の状況把握に努め、個々の状況に応じた計画的な個別指導を進め、また、夏季休業中には意欲を高めるための理科の実験や体育等の講座を開き、学校復帰に向けた取り組みを実施しました。	小学校では24人中14人、中学校では14人中4人の学校復帰とともに、3年生3人の高校進学を果たすことができました。	継続		
1	2	2	納税課	納税活動推進事業	まだ納税貯蓄組合連合会の活動を推進する一助として、町田市内中学校3年生を対象に同連合会が実施している中学生の税の作文について、租税教育の一環として町田市も協力します。	町田市内中学校3年生	なし	7月から9月にかけて、市内の中学3年生から寄せられた税についての作文(2018年度応募総数2,759作品)の審査の協力を行いました。優秀作品に対して、11月に町田税務署及び都税事務所とともに表彰しました。	税金に対する関心を高めることが出来ました。	継続		
1	2	2	生活衛生課	動物愛護啓発パンフレット「ほんとうに飼えるかな？」	学校教育の場で、動物の愛護や適正飼育の普及啓発のための教材として、パンフレットを配布します。	小学3年生	なし	動物の愛護や適正飼育の普及啓発のための教材として、パンフレットを配布しました。	パンフレットを配布し、動物愛護や適性飼育を考えるきっかけをつくることができました。	継続		
1	2	2	選挙管理委員会事務局	選挙出前講座	将来の有権者である児童・生徒を対象に、授業・模擬投票等を通じて選挙の意義や重要性などの理解を深めてもらうことを目的に「選挙出前講座」を実施します。	小学生～高校生	なし	市内小・中・高等学校で計9回の出前講座を実施しました。また、出前講座以外にも、庁舎見学の際に模擬投票を行ったり、選挙器材の貸出し等を43回実施しました。	幅広い年代の児童・生徒を対象に出前講座を行ったことにより、選挙についての理解や関心を高めることができました。	継続		
1	2	2	福祉総務課	「種をまこう」	人権について考えるための冊子を、市内の中学校に配布します。	市内中学生及び各図書館	なし	市内中学校(各20部)及び図書館(各5部)へ配布しました。	市から人権について関心を持つ機会を提供できました。	継続		
1	2	2	福祉総務課	「子どもの人権SOSミニレター」	子どもたちの悩みを把握し、人権問題の解決を図るため、ミニレターを配布します。	市内小・中学生	なし	東京法務局から町田市内の小・中学校に全児童数分配布されました。人権擁護委員や法務局職員が、希望する連絡方法で返事をします。	子どもたちの悩みを把握し、人権問題の解決を図ることができました。	継続		

施策コード ※別シート参照			所管課	事業名	事業の概要	対象	子どもの参画の有無	実施状況	評価	今後の見通し	理由	備考
1	2	2	指導課 国際版画美術館	町田市公立小・中学校作品展	子どもたちが日ごろ学校で学習した美術・図画工作・書写の作品約8,000点を国際版画美術館に展示します。	市立小・中学生とその保護者・家族	なし	意欲あふれる小学校の図画工作・書写の作品、中学校の美術の作品を、以下の会期で国際版画美術館企画展示室に展示しました。 ①中学校美術作品展 1/11(金)～1/20(日) ②小学校図画工作展 1/25(金)～2/3(日) ③小学校書写展 2/8(金)～2/17(日)	展覧会アンケートでは好評の声を多くいただき、延べ26,836人の来館者がありました。中学生の収蔵作品も多くの方が熱心に鑑賞していました。市内の全小・中学校が参加することができ、保護者及び、市民に美術・図画工作・書写教育に対する理解を深めていただく貴重な場なので、今後も学校と連携し、継続していきます。	継続		
1	2	2	国際版画美術館	学校対応講座・出張授業	幅広い普及事業を行うため、学校教育への協力を行いました。当館の施設や資料、道具を用いて様々な体験の場を提供します。 ①学校対応講座（講師：当館学芸員） 希望する学校に対し、版画制作のための環境が整った当館で普及系の学芸員が版画の制作指導を行います。 ②出張授業（講師：当館学芸員、及び展覧会出品作家） 学校教育への支援と、幅広い普及事業を行うため、美術館から学校におもむき、共同で授業を行います。	小・中学校	なし	①5校の小・中学校に対して開講し、合計50人の小・中学生が版画制作を行いました。 ②2校の小・中学校で実施し、合計190人の児童生徒が以下の授業を受けました。 「復刻浮世絵木版の摺り体験」当館所蔵の復刻浮世絵版木を使った木版摺り体験し、伝統的な木版摺りの道具類に触れる。(中学校1校136人) 「インプリントまちな展関連事業」展覧会出品作家を理解し、制作を通してその作品コンセプトを体験する。(小学校1校54人)	①学校ではできない版画制作を体験できたと好評でした。 ②児童生徒は生き生きとした表情で取り組み、発言からは様々な感動や発見が感じられました。 今後も美術館の資源を活用し、学校と連携した事業を行っていきます。	継続		16年度から実施
1	2	2	児童青少年課 (ひなた村)	ひなた村イベント事業 (創作童話コンクール)	市内の小中学生から高校生を対象に、文芸創作活動の機会提供として創作童話を募集します。授業と連動した学校単位での応募も受け付けます。	市内在住、在学の小・中・高校生	なし	コンクールには223編の応募があり、2月に優秀作品の表彰式・作品発表会を実施し181人の参加がありました。なお、表彰式・作品発表会の開催にあたっては東京町田中ロータリークラブに協力いただき実施しました。	子どもの創造力、創作意欲を醸成し、文学に親しむ機会を提供できました。 2019年度からひなた村は指定管理者が管理運営しますが、本事業は所管を児童青少年課に移し、市の事業として継続します。	継続		
1	2	3	保健給食課	学校給食	栄養バランスのとれた食事を提供し、正しい食習慣を身につけることにより、好ましい人間関係の育成や健康増進を目的に、学校給食を実施します。小学校全校は自校調理方式です。中学校は希望制で、弁当併用外注方式を採用しています。	小学校1年生～中学校3年生	なし	市立小学校42校で、自校調理方式による給食を提供しました。また市立中学校19校では弁当併用外注方式により、希望者に対して給食を提供しました(武蔵岡中学校は、大戸小学校との親子方式で給食を実施しました)。また、食育推進の観点から、ウェブサイト『クックパッド』で健康的で栄養バランスのとれた給食レシピを公開し、保護者を通じて児童・生徒の健康増進につなげました。	児童及び生徒に対し、栄養バランスのとれた給食を提供し、正しい食習慣について周知することができました。	継続		
1	2	3	保健予防課	思春期精神保健相談 (保健師)・専門医相談	不登校、ひきこもり、家庭内暴力、摂食障害などの思春期のこころの問題について、保健師による相談を行います。地区担当保健師との継続相談の中で、必要に応じて、月1回の思春期専門医による相談を活用します。	思春期の課題を抱える本人・家族	なし	思春期の健康課題について相談対応を行いました。適宜、地区担当保健師による継続相談を行い、必要に応じて専門医相談を活用しました。 実施回数：34回	思春期の健康課題に対する相談を行い、適宜、関係機関との連携を図りました。 専門医相談利用後は、継続相談を行いながら医療機関につながるなど効果的な相談を実施することができました。	継続		
1	2	4	市民協働推進課 消費生活センター	夏休み子ども教室	夏休み期間中に、工作や実験、料理などさまざまな体験講座を実施します。	小学生または小学生とその保護者	なし	工作教室、環境講座等など、様々なイベントを実施しました。5回実施し、延べ76人が参加しました。	消費生活に関わるテーマで楽しめる講座を実施し、大勢の子どもたちが参加しました。	継続		
1	2	4	指導課	小学校音楽鑑賞教室	音楽の授業の一環として3日間6回、小学校6年生の児童を対象にプロのオーケストラの演奏を鑑賞します。	市立小学校6年生	なし	町田市立小学校の6年生の児童に対し、12/10～12までの3日間に分けて、プロのオーケストラを招いた音楽鑑賞教室を実施しました。	「プロの演奏を通して音楽性の向上と音楽鑑賞能力の育成に寄与する」という教育目標が達成できました。	継続		
1	2	4	図書館(文学館)	子ども俳句教室 春・秋	日本の伝統文化である俳句に親しんでもらうために実施します。	小学生	なし	俳句教室を春と秋に3回ずつ実施し、64人の参加がありました。	自然の中で感じたことを言葉で表現する感性を育む機会を提供できました。	継続		

施策コード ※別シート参照			所管課	事業名	事業の概要	対象	子どもの参画の有無	実施状況	評価	今後の見通し	理由	備考
1	2	4	生涯学習センター	生涯学習センター事業	芸術鑑賞や工作、調理などさまざまな体験事業を実施します。	主に小・中学生	なし	①夏の平和イベントの一環でハンドベルコンサートを開催しました。大人と一緒にコンサートを聞き、ハンドベル体験を楽しみ、平和についても考えました。 ②夏の平和イベントの一環で「子どもクッキング」と「親子クッキング」を開催し、合わせて29人の小学生が参加しました。すいとんやふかし芋などの調理や紙芝居などで、戦争や平和について学びました。 ③夏の平和イベントの一環で「ランプシェード作り」を実施し、2回で48人の参加がありました。同じ作り方である戦時中の風船爆弾を知る機会となりました。	夏の平和イベントの一環として、芸術鑑賞・調理・制作などを体験することにより、戦争時代のことを知り、平和について考えるきっかけとなりました。	継続		
1	2	4	福祉総務課	「人権の花」運動	協力し合って花を栽培することにより、人権の大切さに気づき、豊かな人権感覚を身に付けることを目的に実施します。	市内小学生	なし	七国山小学校、小山田南小学校、鶴川第二小学校の3校で実施しました。	人権の花の取り組みに合わせ人権標語づくりに取り組み自分の人権と他者の人権を大切にする、人権尊重の精神を学年に応じて意識化することができました。	継続		
1	2	4	障がい福祉課	障がい児スポーツ教室	障がいのある小学生以上の方を対象に、年間36回程度スポーツ教室を開催します。	障がいのある小学生以上の方	なし	サン町田旭体育館で34回、すみれ会館プールで30回実施しました。	障がいのある方の余暇活動の場を提供できました。	継続		
1	2	4	農業振興課	自然体験	植樹やたけのこほり、米作りなど自然体験を実施します。	小学生以上とその保護者	なし	小学生を対象にしたドングリ植えや植樹会、小学生以上とその保護者を対象にしたたけのこ掘りや米づくり等を実施しました。	日常では味わえない貴重な体験を通して、里山に興味を持つ機会を提供することができました。	継続		
1	2	4	市民協働推進課 男女平等推進センター	各種講座・体験教室	親子工作教室や自由研究講座、調理などを実施し、さまざまな体験ができる講座を実施します。	小学生とその父親	なし	親子での作業を通し、男性の育児参加の促しを目的として、草玩具を作る講座を実施し、7組の父親が参加しました。	日頃触れ合う機会の少ない父子がともに楽しめる講座は、満足度が高く好評であるため、今後も継続して実施していきます。	継続		
1	2	4	スポーツ振興課	小学生スクール(室内プール)	小学生の水泳初心者を対象に、水に慣れるところから浮き身、キック、4種目の完泳を目指し、実施します。	小学生	なし	大規模改修工事休館の為、4月～7月で16クラス開催し、参加人数750人(延べ人数4,720人)が参加しました。室内プール25mプールで開催しました。	水慣れから泳法完成までの各々のレベルに合ったクラスで指導にあたり、効率よく泳法技術の向上を図れました。	継続		
1	2	4	スポーツ振興課	キッズダンススクール(室内プール)	音楽に合わせて身体を動かしリズム感・柔軟性・体力の向上を図るダンス教室を実施します。	小学生	なし	大規模改修工事休館の為、4月～8月で4クラス開催し、参加人数79人(延べ人数678人)が参加しました。室内プール会議室で開催しました。	ダンスを通して楽しく体を動かすことの出来る機会を提供することが出来ました。	継続		
1	2	4	スポーツ振興課	幼児運動スクール(室内プール)	体操器具やボール・フープなどを使いながら、子どもの発達特性に応じた運動を体験させることにより、身体を動かす事の楽しさを覚えさせます。さらに、集団での運動遊びを通じて、集団行動の大切さを学びます。	3歳～6歳までの未就学児童	なし	6月・7月で1クラス開催し、参加人数3人(延べ人数17人)が参加しました。室内プール会議室で開催しました。	神経回路が発達する幼児期に様々な動きを行うことによって姿勢もよくなり、体の動かし方の習得につなげることが出来ました。	継続		
1	2	4	スポーツ振興課	幼児スクール(室内プール)	幼児の水泳初心者を対象に、水に慣れる顔つけからバタ足まで水泳の基礎を学んでいきます。	4歳～6歳までの未就学児童	なし	大規模改修工事休館の為、4月～7月で8クラス開催し、参加人数203人(延べ人数1,222人)が参加しました。室内プール25mプールで開催しました。	水慣れから泳法完成までの各々のレベルに合ったクラスで指導にあたり、効率よく泳法技術の向上を図れました。	継続		
1	2	4	スポーツ振興課	ジュニアテニスクリニック	基礎運動能力の向上から、テニスの基礎など、楽しく運動を始めるきっかけづくりの場として、実施します。	4歳～小学生	なし	9/8に午前18人、午後18人の枠で実施いたしました。参加組数は申込33人、参加が33人となりました。	年齢に合わせたレッスン構成とし、体を動かすことや、テニスに興味を持ってもらう機会を提供できました。	廃止	2019年度から指定管理者が変更となるため。	
1	2	4	スポーツ振興課	親子テニスレッスン	親子向けテニスレッスンでは親子で運動をする楽しさを感じていただき、その後の親子ペアでのミニゲームも行い互いに励ましあい親子の絆を深めていただけるようなイベントを行います。	小学生と高校生以上のペア	なし	2/16に午前20組、午後20組の枠で実施いたしました。参加組数は申込33組、参加が32組となりました。	テニスが初めての方でも、親子でダブルスを組んで試合ができるようなレッスン構成とし、イベント後半に試合を行いました。互いに励まし合ったり、喜んだり、親子の絆を深める機会を提供できました。	廃止	2019年度から指定管理者が変更となるため。	
1	2	4	スポーツ振興課	キッズダンス	音楽に合わせて身体を動かしリズム感・柔軟性・体力の向上を図るダンス教室を実施します。	4歳～小学2年生	なし	町田市立総合体育館にて、下記の対象年齢ごとに事業を実施しました。 4歳～6歳対象(全10回):62人 小学1年生～3年生対象(全10回):61人	今年度も対象を2つに分け(キッズ4歳～6歳児・ジュニア小学1年生～3年生)実施しました。音楽に合わせて身体を動かし、リズム感や協調性を養うことを目的としたことで、ダンスに興味を持つ機会を提供することができました。	継続		

施策コード ※別シート参照			所管課	事業名	事業の概要	対象	子どもの参画の有無	実施状況	評価	今後の見通し	理由	備考
1	2	4	スポーツ振興課	なわとび教室	基礎体力向上・基本的な短縄の跳び方の習得を目指し、個人のレベルアップを図りながら、仲間と協力しあう大切さを学びます。	5歳～小学生	なし	2018年度事業計画に沿って、5歳～小学生を対象としたなわとび教室を、町田市立総合体育館で実施しました。5歳～小学2年生対象(全10回):60人 小学3年生～6年生対象(全10回):39人	今年度はなわとびの「前とび」と「後ろとび」に加え、「2重とび」の習得を目指す教室を実施しました。	廃止	2019年度から指定管理者が変更となるため。	
1	2	4	スポーツ振興課	小学生バドミントン教室	バドミントンへの関心を高め、技術向上を図ることを目的とする教室を実施します。	小学3年生～6年生	なし	10月～12月(全10回)、参加者数40人を町田市立総合体育館で実施しました。	ジュニアアスリート育成の一環として今年度も町田市バドミントン連盟にご協力いただき、バドミントン教室を実施しました。	廃止	2019年度から指定管理者が変更となるため。	
1	2	4	スポーツ振興課	元オリンピック選手による体操教室	元オリンピック選手を指導者に招き、競技への関心を高め、技術向上を図ることを目的とする教室を実施します。	4歳～小学生	なし	12/15に5歳～小学生を対象とした体操教室を、町田市立総合体育館で実施しました。79人の参加がありました。	2020年東京オリンピック・パラリンピック気運醸成イベントの一環として、オリンピック大島杏子氏を招き、体操教室を実施しました。技術指導はもちろん、デモンストレーションを行ってもらうことにより「観る」スポーツを提供することができました。	廃止	2019年度から指定管理者が変更となるため。	
1	2	4	スポーツ振興課	バスケットボール教室	トップアスリートを指導者に招き、競技への関心を高め、技術向上を図ることを目的とする教室を実施します。	小学4年生～中学1年生	なし	10月～12月(全10回)・1月～3回(全10回)、参加者数2期合わせて38人を町田市立総合体育館で実施しました。	元プロバスケットボール選手、板倉令奈氏を講師に招き、教室を実施しました。技術指導はもちろん、子ども同士でコミュニケーションを取り、協調性を養うことで、バスケットボールの楽しさ、ルールを守る大切さを感じてもらう機会を提供することができました。	廃止	2019年度から指定管理者が変更となるため。	
1	2	4	スポーツ振興課	走り方・かけっこ教室	基礎体力向上・基本的な走り方の習得を目指し、個人のレベルアップを図りながら、仲間と協力しあう大切さを学びます。	小学生	なし	4月と8月と3月に5歳～小学生を対象としたかけっこ教室を、町田市立総合体育館で実施しました。3回合わせて合わせて217人の参加がありました。	今年度は2回コースに変更しました。3回合わせて258人の申込があり、改めてコースの高さを実感することができました。	廃止	2019年度から指定管理者が変更となるため。	
1	2	4	スポーツ振興課	親子キャッチボール	町田市三輪みどり山球場を親子でキャッチボールができるよう、無料で開放します。	未就学児～高齢者までどなたでも	なし	親子キャッチボールを町田市三輪みどり山球場で実施しました。計19人の参加がありました。	町田市三輪みどり山球場の有効活用および、親子でコミュニケーションを取る機会を提供することができました。参加人数も前年より増加しました。	廃止	2019年度から指定管理者が変更となるため。	
1	2	4	スポーツ振興課	体操教室	体操器具やボール・フープなどを使いながら、子どもの発達特性に応じた運動を体験させることにより、身体を動かす事の楽しさを覚えます。さらに、集団での運動遊びを通じて、集団行動の大切さを学びます。	3歳～小学生	なし	3歳～5歳対象のちびっこ体操教室を4月～6月(全10回)・9月～11月(全10回)・1月～3月(全10回)、参加者数3期合わせて127人、4歳～6歳対象のわんぱく体操教室を4月～7月(全10回)・9月～11月(全10回)・1月～3月(全10回)、参加者数3期合わせて140人、小学生対象の小学生体操教室を4月～7月(全10回)・9月～11月(全10回)・1月～3月(全10回)、参加者数3期合わせて124人、小学1年～2年生対象の小学生短期集中体操教室を7月に5回、参加者数64人を町田市立総合体育館で実施しました。	マット・鉄棒とび箱などの動作の習得を目指し、遊びを取り入れながら練習を行うことで、体操に興味を持つ機会を提供することができました。	継続		
1	2	4	国際版画美術館	子ども講座	主に小学生を対象として、さまざまな専門家(アーティスト)の指導のもと、版を使った創作活動を行います。また、企画や指導において大学との連携も行います。	4歳～小学生	なし	①東京学芸大学と連携し、夏期子ども講座「あってみたいな、紙版画でつくるオリジナル妖怪」を7/21、22に開催し、19人が受講しました。完成作品などを8/7～12に市民展示室で展示し、343人が来場しました。 ②子ども講座「あなただけの森をつくろう」を12/22に開催し、子ども15人保護者13人が参加しました。 ③子ども講座「不思議☆描いた絵がそのまま版画になる?!『紙平版画』をつくってみよう」を3/24に開催し15人が参加しました。	①受講生の感想文からは初めて触れる版画技法を楽しんだ様子が伺えました。今後も大学との連携により充実した内容を実施していきます。 ②③版画制作を体験することはもちろんのこと、講師であるアーティストの作品に参加した子どもと、その保護者で鑑賞する時間を大切にしています。これからもアーティストと直に触れあえる貴重な場を提供していきます。	継続		
1	2	4	国際版画美術館	夏休み小・中学生向けイベント	夏休み期間中に来館する小・中学生を対象に、企画展のワークシートの設置や、版画体験イベントを行います。体験イベントに関しては、企画や指導において大学との連携も行います。	小・中学生	なし	①企画展にあわせ小・中学生向けの鑑賞ガイドを作成し、2,730部を配布しました。 ②『版画キングダム!古今東西の巨匠が勢ぞろい』展開連催事入画にイタズラ?!』を7/27に実施し、96人が参加しました。	①来館した小・中学生がガイドを手に作品を鑑賞する姿が多く見られました。鑑賞の一助として活用していることが伺え、今後も継続してまいります。 ②多くの参加があり盛況でした。今後も、版画を通じて豊かな人間性を育む機会を提供していきます。	継続		

施策コード ※別シート参照			所管課	事業名	事業の概要	対象	子どもの参画の有無	実施状況	評価	今後の見通し	理由	備考
1	2	4	文化振興課	親子で楽しむ茶会	「町田市民文化祭～秋の催し～」内で、経験のない方でも茶道を学ぶことができ、伝統文化に触れられる機会を提供します。	小学生～大人(親子)	なし	10月から11月に町田市民ホールで開催された町田市民文化祭にて、「親子茶会」を開催し、茶道をととした日本の伝統文化を体験していただきました。	参加者が普段触れることが難しい日本の伝統文化を体験できました。	継続		
1	2	4	文化振興課	音楽座ミュージカル小・中学校アウトリーチ事業	市と町田市文化芸術パートナーシップ協定を結んでいる音楽座ミュージカルによる、市立小・中学校での巡回公演やワークショップなどを、一般財団法人町田市文化・国際交流財団のアウトリーチ事業として実施します。	小学生～中学生	なし	一般財団法人町田市文化・国際交流財団のアウトリーチ事業として、音楽座ミュージカルによるワークショップを市立小学校と子どもセンターにおいて実施し、968人が参加しました。	参加した子どもたちに、ワークショップを通して、イメージすることの大切さを伝えました。	継続		
1	2	4	3R推進課	環境学習	工作などを通じて、リデュース、リユース、リサイクル(3R)の大切さを学ぶ環境学習を実施します。	小学1年生～	なし	・ガラス砂絵教室 5回(150人) リサイクルガラス砂を使って砂絵を作成し、楽しみながらビンのリユースについて学べる講座を実施しました。 ・わくわくエコ体験 2回(55人) ハチドリ教室を伝える会の実施する環境講座に加え、使用しなくなったものを使った工作を行いました。 ・施設見学会 1回(34人) 近隣のリサイクル施設をバスで巡るツアーを実施しました。	前年度の振り返りを反映して、言葉で伝えるだけでなく、実際に体験してもらうことで、たくさんの方に3R(リデュース・リユース・リサイクル)の大切さを感じていただきました。	継続		
2	1	1	保険年金課	出産育児一時金事業	国民健康保険被保険者が出産した際に、出産育児一時金を支給します。	出産した町田市国民健康保険加入者	なし	2018年度は280件支給しました。	2019年度も、事業継続します。	継続		
2	1	1	保険年金課	国民健康保険出産費資金貸付	出産育児一時金が支給されるまでの間、無利子で出産費用の貸付けを行います。	出産予定の町田市国民健康保険加入者	なし	2018年度の支給実績はありません。	2019年度は、事業廃止します。	廃止	出産育児一時金の直接支払制度の導入等により、出産に必要な資金を貸し付けるという所期の目的を達成したため。	
2	1	1	保健予防課	妊婦健康診査*	妊婦の健康保持及び増進を図るため、健康状態の把握、検査計測、保健指導を実施するとともに、妊娠期間中に必要に応じて医学的検査を実施します。	妊婦	なし	医療機関に委託し、妊婦の健康状態の把握、検査計測、保健指導を実施しました。 ・2018年度受診者数(延べ数):36,178人	健診の実施により、妊婦の健康保持及び増進を図ることができました。	継続		
2	1	1	保健予防課	こんにちは赤ちゃん訪問*(乳児家庭全戸訪問事業)	生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行います。	生後4か月までの乳児がいる家庭	なし	保健師等が訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行いました。 ・2018年度訪問家庭数:2,408件	子育て家庭を訪問することで、各家庭が必要とする相談を受けたり、子育てに関する情報を伝えることができ、支援ができました。	継続		
2	1	1	保健予防課	母子健康手帳	妊娠・出産・各種健康診査・予防接種を記録し健康の保持増進を図ります。	妊娠届を提出された方	なし	妊娠届を受領後、母子健康手帳を交付しました。 ・2018年度交付数:2,723件	妊娠届を提出された全ての妊婦に母子健康手帳を交付しました。希望者には、外国語版を交付しました。	継続		
2	1	1	保健予防課	妊婦に対する医療費助成	対象となる疾病により入院治療された方への医療費を助成します。	対象となる疾病で入院治療された方	なし	2018年度は1件申請があり、医療券を交付しました。	引き続き、医療費の助成により、妊婦の健康保持を図ります。	継続		
2	1	1	保健予防課	プレママクッキング	妊娠中の健康管理・正しい食生活の支援を行い、母子の健康増進を図ります。	妊娠16～35週の町田市在住の妊婦	なし	減塩や食事バランスに配慮した、魚献立(偶数月)、肉献立(奇数月)を各6回(年12回)延べ90人に実施しました。	妊娠期の栄養の講話や調理実習を通して、適切な食生活の知識を得るとともに、母子の健康増進を図ることができました。	継続		
2	1	1	市民協働推進課 男女平等推進センター	プレママ&新米ママ向け講座	産前・産後の女性は社会とのつながりが薄く、育児において孤立感を感じやすいため、同じ立場の女性同士で悩みや不安を共有し、子育てに関する情報交換や交流の場となるような講座を設定します。また、保育を利用して、子どもと離れ、自分の時間を持つことで、育児ノイローゼやうつ予防の推進を図ります。	妊娠中の方、2歳未満の子どもがいる女性	なし	「子育てママのためのカラダメンテナンス」を実施し、2歳未満の子供を持つ母親にヨガやストレッチをしてもらいました。子育て中の母親に心身のリラクセスしてもらい、また、同じ立場同士の女性の交流の機会を作ることができました。6人が参加しました。	通常の講座は1歳半以上のお子さんを保育対象としていますが、6か月以上のお子さんを保育対象とし、子どもと離れ、自分のことだけに集中できる時間を提供できました。	継続		

施策コード ※別シート参照			所管課	事業名	事業の概要	対象	子どもの 参画の 有無	実施状況	評価	今後の 見通し	理由	備考
2	1	1	児童青少年課	子どもセンター事業 (子育てスタート期の支援)	妊婦と新生児を持つ保護者の交流を楽しむとともに、出産後のイメージをもつこと、育児不安を緩和することを目的に、スタイづくりやおもち作り、講座などを実施します。	妊婦と生後6ヶ月までの乳児と保護者	なし	子どもセンターばお事業「ピーカーブー(0歳児とその保護者対象)では、毎回15組以上の参加があります。スタッフを交えたグループ内での交流では、他の保護者とつながるきっかけになりました。その他の子どもセンターでも、0歳児とその保護者を対象とした事業や産後ヨガなどを実施いたしました。	事業実施を通して、新生児を持つ保護者がまず外に出るきっかけになっています。また、定期的の実施することで、育児不安への相談の場になっています。	継続		
2	1	2	保健予防課	予防接種	乳幼児の疾病の予防・まん延防止のため、予防接種・助成を行います。	生後2ヶ月以上の乳幼児	なし	予防接種法に基づき、対象年齢の乳幼児に対して、市内の指定医療機関にて各種定期予防接種を実施しました。	定期予防接種の実施により、疾病の予防・まん延を防止することができました。	継続		
2	1	2	保健予防課	妊婦・乳幼児精密健康診査	各健診で乳幼児の健康増進、疾病の早期発見と保護者への育児支援を行います。	各健診の結果、専門医療機関での精密検査が必要と判断された方	なし	各健診の結果、専門医療機関での精密検査が必要と判断された方に対して、精密健康診査の受診票を発行しました。 ・受診票発行数：(乳児：74件、1歳6か月児：1件、3歳児：199件)	専門医療機関での精密検査を行うことにより、疾病の早期発見等につなげることができました。	継続		
2	1	2	保健予防課	離乳食・幼児食講習会 健康教育・乳幼児栄養食品支給	母子の健康増進を図るために行います。	4,5か月の乳幼児の保護者、8,9か月の乳幼児の保護者、1歳6か月～2歳0か月の乳幼児の保護者	なし	離乳食講習会(初期)24回延べ620人、(後期)18回延べ391人、幼児食講習会8回延べ160人に実施しました。 ・乳幼児栄養食品支給(0件)	試食や講話を通じて、離乳食の進め方や幼児期の食について理解するとともに、母子の健康増進を図ることができました。	継続		
2	1	2	保健予防課	虫歯予防教室	虫歯予防への関心を高めるために行います。	1,6歳児歯科健康診査を受診された児と保護者。市内の希望する保育・幼稚園児や、子育てひろば・育児講座・子育てサークル等の乳幼児、および小学校の生徒。	なし	「むし歯予防教室(集団)」を12回80組の親子に実施しました。 ・園児むし歯予防教室は72園の保育園と5園の幼稚園で6,359人の園児に行いました。 ・子育て広場や、育児講座は7箇所親子185人に講演と実技を行いました。 ・9校の小学校で13回1,213人の児童と1校の中学校69人の生徒に歯みがき教室を実施しました。	それぞれの歯の本数や生え方に合わせた歯科保健指導を行いました。正しい歯のみがき方を身に着けることでむし歯予防への関心を高められました。	継続		
2	1	2	子ども家庭支援センター	養育支援訪問事業*	養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保します。	養育支援が特に必要な家庭	なし	5件の家庭に対して養育支援を実施しました。	ヘルパー事業所や保健予防課等の関係機関と連携し、支援の必要な家庭に対して事業を導入し、適切な養育ができるよう支援しています。	継続		
2	1	2	子ども家庭支援センター	ショートステイ・ワイルドステイ*	保護者の疾病等の理由により当該児童を養育することが一時的に困難な場合に、短期的に当該児童を養育します。	一時的に養育が困難になった家庭。2歳～小学6年生まで。	なし	2018年度はショートステイ603人、トワイライトステイ650人(いずれも延べ人数)の利用がありました。利用理由は仕事の次に養育者の疾病が多くなっています。	支援を必要としている家庭を利用につなげることにより、育児が継続できるよう支援しています。	継続		
2	1	2	子ども家庭支援センター	子どもとその家庭からの総合相談(再掲)	0歳～18歳未満のお子さんとその家庭の相談を受けます。必要に応じて各種情報の提供、専門機関やサービスの紹介・調整をし、問題の解決に向けたサポートを行います。	0歳～18歳未満のお子さんとその家庭	なし	3,607件の子育てに関する相談を受けました。相談者の話を聞き、助言及び必要な情報の提供、サービスの紹介・調整を行いました。	相談者のニーズに合わせた子育て支援サービスにつなげています。相談件数は前年度より増加しています。引き続き問題解決のサポートを充実させていきます。	継続		

施策コード ※別シート参照			所管課	事業名	事業の概要	対象	子どもの参画の有無	実施状況	評価	今後の見通し	理由	備考
2	1	2	保育・幼稚園課 子育て推進課 保健予防課	利用者支援事業* (再掲)	全ての子育て家庭に対して、妊娠期から市の専門職が関わり、子育て期まで切れ目なく支援を行います。全ての子育て家庭を対象として専門職が面接を行い、心身の状態や子育て支援のニーズ等を把握します。支援を要する者に対して支援プランを作成し、効果検証を行い、就学前まで支援します。また、関係機関と連携し、出産後も子育てに係る施設や事業等の情報を提供し、支援を継続します。	【母子保健型】 妊婦及び 0歳～就学前 【特定型・基本型】 0歳～就学前	なし	【特定型】 保育所等の利用希望のある家庭や入所保留となった家庭等に対して、家庭状況を確認して、各家庭に適した施設の選び方、施設の空き状況等の案内を行うことなどにより、入所につながるよう支援しました。2018年度は延べ404人の相談があり、相談者一人ひとりに合った支援プランを作成し情報の提供を行いました。なお、各保育施設や関係機関に出向きながら現場の情報を収集することで、より細やかな情報を提供できるようになりました。また、地域の子育てひろば等において保育の入所申込等の出張講座を12回開催し、254人の方が参加し、保育施設や事業等の選び方、施設情報を提供しました。 【基本型】 利用者からの相談に対してや、ケアを要するケースに対する関係機関との情報共有を延べ1,191回行いました。また、母子保健型と60回の会議を行い連携体制を強化しました。 また、市内保育園で企画するプレママ対象のイベント情報を集約し、チラシ400部を、保健所の「子育てしっかりサポート面接」の場、市民病院、市内の保育園等で布置しました。 【母子保健型】 妊婦への面接の実施により、妊娠期より支援を必要とする者の把握ができ、早期からの相談・支援体制の強化を図ることができました。 ・面接件数:2,481件 ・支援計画作成件数:210件 ・妊娠期より関係機関との連携した妊婦の人数:23人	【特定型】 園訪問による情報収集や出前講座を行い、より細やかな支援を実施することができました。引き続き、子育て家庭に寄り添い、関係機関とも連携しながら、情報の提供を行い、利用者の支援を継続していきます。 【基本型】 各関係機関との情報共有、その他連携により、利用者に切れ目のない支援を提供することができました。今後も、更に連携し、よりきめ細かい利用者支援に繋げていきます。 【母子保健型】 面接の実施により、妊婦の不安軽減を図り、安心して出産・子育てができるよう支援を行いました。また、妊娠期より支援を必要とする者の把握ができ、早期からの支援ができました。	継続		
2	1	2	子育て推進課	マイ保育園登録事業*	在宅子育て家庭を対象に、近隣の公私立保育園を登録してもらい「マイ保育園(かかりつけ窓口)」として気軽に相談したり子どもの身長体重を測定してもらいます。また、マイ保育園から定期的に登録者へ子育て情報を送付します。	0歳～就学前	なし	マイ保育園実施園は70園となり、登録人数は5,096人でした。	マイ保育園事業実施園は1園増えました。登録人数は横ばいとなりましたが、今後も実施園の増加および登録を促進し、子育てに関する身近な相談先としてマイ保育園を選んでもらえるよう努めていきます。	継続		
2	1	2	子育て推進課	子育てひろば事業*	乳幼児親子に居場所を提供します。また、プログラムサービスを行い、子育ての楽しさを実感し、利用者同士の交流を深めることも目的とします。	0歳～就学前	なし	マイ保育園実施園は70園、受入可能人数151,250人となりました。2018年度末時点での延べ利用人数は71,206人(園庭・室内開放等)でした。	延べ利用人数が前年度と比較し約550人増えました。また子育てひろばの設置数の見直しを行い、適正な配置数を決定しました。	継続		
2	1	2	市民協働推進課 男女平等推進センター	子育てサポート講座	子育てのヒントや子どもの危険防止などの育児講座を開催します。	小学生とその保護者	なし	子どもの権利と危険な場面から身を守る方法を学ぶ講座を実施しました。子どもワークショップと、大人が子どもを支援するための方法を学ぶ大人ワークショップを実施し、子ども14人、大人20人が参加しました。	ワークショップを通し、子どもの権利及び危険な場面から身を守る知識や技術を学ぶ機会を提供できました。	継続		
2	1	2	スポーツ振興課	親子体操教室	体操を通じ親子のスキンシップを深めると共に、同じ年頃の子どもを持つ親同士のコミュニケーションを図ります。	1歳半～6歳	なし	・1歳6ヶ月～1歳11ヶ月対象のよちよち親子体操教室を4月～6月(全10回)・9月～11月(全10回)・1月～3月(全10回)、参加者数3期合わせて71組 ・2歳～2歳5ヶ月対象のてくてく親子体操教室を4月～6月(全10回)・9月～11月(全10回)・1月～3月(全10回)、参加者数3期合わせて75組 ・2歳6ヶ月～2歳11か月対象ののびのび親子体操教室を4月～6月(全10回)・9月～11月(全10回)・1月～3月(全10回)、参加者数3期合わせて66組 ・3歳～3歳11か月対象のわくわく親子体操教室を4月～6月(全10回)・9月～11月(全10回)・1月～3月(全10回)、参加者数3期合わせて74組 ・4歳～6歳対象の親子ふれあい体操教室を4月～7月(全10回)・9月～11月(全10回)・1月～3月(全10回)、参加者数3期合わせて90組を町田市立総合体育館で実施しました。	月齢に合った運動指導ができるよう対象年齢を5つに分け実施しました。親子でコミュニケーションを取りながら体力作りができるよう内容を構成したことで、さまざまなスポーツに触れ合う機会を提供することができました。	継続		
2	1	2	スポーツ振興課	親子で鉄棒教室	基礎体力向上・逆上がりの習得を目指し、個人のレベルアップを図りながら、仲間と協力しあう大切さを学びます。	4歳～6歳	なし	7月と3月に4歳～6歳を対象とした鉄棒(逆上がり)教室を、町田市立総合体育館で実施しました。2日合わせて71組の参加がありました。	今年度も「逆上がり」の習得を目指す教室を実施しました。ニーズも高く多くの方に参加していただくことができました。	廃止	2019年度から指定管理者が変更となるため。	

施策コード ※別シート参照			所管課	事業名	事業の概要	対象	子どもの参画の有無	実施状況	評価	今後の見通し	理由	備考	
2	1	2	児童青少年課	学童保育クラブ親子遊び	学童保育クラブを開放し、乳幼児親子に居場所を提供します。また、プログラムサービスを行い、子育ての楽しさを実感し、利用者同士の交流を深めることも目的とします。	未就学児とその保護者	なし	本年度は19か所の学童保育クラブで年間204回開催しました。多くの乳幼児と保護者に参加いただき、毎回、広いスペースを生かした様々なイベントを実施しました。	指定管理による運営法人ごとに、特色を生かした事業を行うことで、乳幼児だけでなく保護者の交流の場としても、大変好評でした。	継続			
2	1	3	市民協働推進課 男女平等推進センター	就職支援セミナー	働きたいと考えている女性たちに、就職に向けて一歩を踏み出すための意識付けの場を提供します。	再就職を考えている女性	なし	ハローワークなど関係機関との連携を図り、パソコン講習、面接講座、社会保険制度講座を実施しました。延べ143人が参加しました。	さまざまな切り口から再就職支援を行うことで、課題解決の機会を提供できました。今後も参加者のニーズに沿った講座を実施していきます。	継続			
2	1	3	市民協働推進課 男女平等推進センター 産業観光課	仕事と家庭の両立推進企業賞	仕事と家庭の調和(ワークライフバランス)推進に積極的に取り組む、市内の企業・事業所を表彰します。	仕事と家庭の両立を推進している事業所	なし	仕事と家庭の両立を推進している企業・事業者を表彰しました。表彰企業の取り組みなどを広報等で周知しました。	2018年度は1社表彰しました。今後も仕事と家庭の両立について、啓発を続けていきます。	継続			
2	1	4		乳幼児・母性相談	育児や離乳食・幼児食、お母さんの身体や気持ちのことなどの相談を受け付けます。	育児のこと等で相談を希望される方	なし	保育相談、栄養相談、歯科相談、乳幼児の身長・体重測定、産後の母体の相談等を実施しました。 ・相談者数(延べ):保育相談829人、栄養相談1,142人、歯科相談555人、母性相談795人、身長体重測定2,634人	個々に必要とする相談を受けることで、育児支援を行うことができました。	継続			
2	1	4		子育て推進課 マイ保育園登録事業*(再掲)	在宅子育て家庭を対象に、近隣の公立保育園を登録してもらい「マイ保育園(かかりつけ窓口)」として気軽に相談したり子どもの身長体重を測定してもらいます。また、マイ保育園から定期的に登録者へ子育て情報を送付します。	0歳～就学前	なし	マイ保育園実施園は70園となり、登録人数は5,096人でした。	マイ保育園事業実施園は1園増えました。登録人数は横ばいとなりましたが、今後も実施園の増加および登録を促進し、子育てに関する身近な相談先としてマイ保育園を選んでもらえるよう努めていきます。	継続			
2	1	4	市民協働推進課 消費生活センター	各種保護者向け講座	子育てに関するさまざまな学習会や親子の体験教室を実施します。	保護者	なし	消費生活にかかわる正しい知識を身に付け、若年者の被害の未然防止を目的として、小山中学校2年生とその保護者を対象に「出前講座」を実施しました。	トラブルの事例や対処方法などを親子で聞いていただくことで、子どもの消費生活トラブルの未然防止につながります。	継続			
2	1	4		子ども発達支援課	保護者に対する発達に関する相談及び支援	心身の発達に遅れやその心配のある子どもを持つ保護者からの相談を受け、助言を行います。	発達の心配のある子どもの保護者	なし	発達相談の新規相談受付件数は747件あり、相談内容に応じた助言等を行いました。	ケースワーカーを配置し、相談体制を充実しました。	継続		
2	2	1		子育て推進課	ファミリーサポートセンター事業*	地域の中で子育ての相互援助活動を行い仕事と育児の両立を支援します。保育園・幼稚園などへの送迎、学校の放課後・学童クラブの終了後の預かりなど、補助的、臨時的なお手伝いをします。	小学生以下の子どもがいる保護者	なし	2018年度実績は約10,100回で、昨年から約780件増加しました。会員数には大きな変化はなく、安定した運営が実施できています。	1人あたりの利用回数が増加していることから、利用者のニーズが増加していることが伺えます。2019年度10月以降は、委託事業者の変更もあるため、安定した運営を維持しつつ、ニーズに対応します。また、新たな角度から周知を図り、利用者の拡大を行います。	継続		
2	2	1		保育・幼稚園課	一時保育事業*	一時的に乳幼児を幼稚園・保育所等でお預かりします。	保育所等に入所していない乳幼児	なし	市内56ヶ所の認可保育所、認定こども園・幼稚園で一時保育を実施し、延べ20,645人の利用がありました。	現在の規模を確保しつつ、認定こども園や幼稚園も含めた多様な施設での実施を実現し、利用者の多様なニーズに応えられるよう今後も推進していきます。	継続		
2	2	1		保育・幼稚園課 子育て推進課	延長保育事業*	保育認定を受けた子どもについて、通常の利用日・時間以外に保育を実施します。	保育認定を受けている子ども	なし	市内78か所の認可保育所、認定こども園で延長保育を実施し、延べ136,785人の利用がありました。	現在の規模を確保し、利用者の多様なニーズに応えられるよう今後も推進していきます。	継続		
2	2	1		保育・幼稚園課	定期利用保育事業*	認可保育所の入所要件には満たないが、定期的に児童の保育ができない家族を対象に、一定程度継続的に預かります。	保育所等に入所していない乳幼児	なし	市内18ヶ所の認可保育所、認定こども園・幼稚園で定期利用保育を実施し、延べ12,918人の利用がありました。保育の必要性の認定要件に相当する保育時間が提供できる保育認定児枠は、延べ3,645人の利用がありました。	現在の規模を確保しつつ、認定こども園や幼稚園も含めた多様な施設での実施を実現し、利用者の多様なニーズに応えられるよう今後も推進していきます。	継続		

施策コード ※別シート参照			所管課	事業名	事業の概要	対象	子どもの参画の有無	実施状況	評価	今後の見通し	理由	備考
2	2	1	子育て推進課	幼児教育・保育施設整備*	幼稚園、認可保育所、認定こども園、家庭的保育者、小規模保育所を整備します。	保育を必要とする子どものいる家庭	なし	小規模保育事業所10園の新設、認証保育所1園の認可保育所への移行、幼稚園1園の認定こども園(幼稚園型)への移行を支援しました。	町田市子ども・子育て支援事業計画の中間見直し(2017年12月)に基づき、施設整備を行いました。今後も待機児童解消に効果的な施設整備を引き続き行います。	継続		
2	2	1	子育て推進課	病児・病後児保育*	病児及び病後児について、病院または保育所等に付設された専用スペースにおいて、看護師等が一時的に保育等を実施します。	病児:0歳4ヶ月～小学校2年生 病後児:1歳～小学校3年生	なし	利用者は2018年度実績は延べ1,420人でした。市民が市外施設を利用できるように引き続き八王子市と広域利用連携を行っています。また、2019年度10月から町田地域に稲垣耳鼻咽喉科医院病児保育施設「おおきな樹」が開所します。2019年度以降もニーズ量に応じた定員数を確保していきます。	病児保育施設が1施設しかないことから新規施設の開設に向けて、検討・調整を進めました。	継続		
2	2	1	子育て推進課	年末保育	年末に保護者の方が就労のため保育が必要である場合、お子さんをお預かりします。	就学前の乳幼児	なし	町田保育園にて年末12/29・30に実施しました。	29日は15人、30日は8人の利用がありました。年末の保育の提供が出来ました。	継続		
2	2	1	児童青少年課	学童保育クラブ事業*	就労等により、保護者が昼間家庭にいない小学生に対し、授業の終了後に小学校の余裕教室、児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、児童の健全な育成を図ります。	小学校1～3年生の児童(障がい児は6年生まで)、及びその保護者	なし	「町田市5カ年計画17-21」の重点事業「学童保育クラブの整備」に基づき、狭あい化や老朽化した学童保育クラブの解消に取り組んでいます。狭あい化した学童保育クラブ3カ所の整備については2017年度で完了し、今年度は老朽化した学童保育クラブ1カ所の改修工事が完了したことで、児童の安全、安心な生活の場を整えることができました。今年度も、一定の期間に申請のあった児童につきましては、障がいのある児童も含めて全員が入所しました。4月1日には3,667人の児童が入所しており、小1の壁となる待機児童が発生しないように、受け入れ態勢を整えました。	保護者の就労等で、放課後の家庭において適切な保護を受けられない小学1年生から3年生(障がいのある児童は6年生まで)に、適切な生活の場を提供する学童保育クラブは、年々利用者が増加しています。対象の児童を全員受け入れる全入制度を導入し、待機児童が発生しないようにするとともに、児童を安心して預けられる環境を整えることで、より一層学童保育クラブの必要性は高まることが想定されます。	継続		
2	3	1	保育・幼稚園課	障がい児通園促進事業	特別な配慮が必要な子どもを幼稚園等に通園させることにより、心身の発達を助長するものです。受け入れ施設への補助を行います。	特別な配慮が必要な子ども	なし	市内27カ所の幼稚園で通園促進事業を実施し、年間延べ167人の利用がありました。	引き続き定員数を確保しニーズに応えていきます。	継続		
2	3	1	教育センター	就学・進学相談	小学校への就学、中学校への進学の際に、何らかの障がいのある子どものために、個々の特性に合わせた教育支援を保護者と共に考えます。	2019年4月に就学、進学する児童と保護者	なし	教育センターにおいて、小学校への就学相談会は19回(申請件数281件)、中学校への進学相談会は19回(申請件数196件)行いました。	・保護者と共に就学・進学先を考え、適切な入学先を選択できるよう相談を行うことができました。 ・心理士等の専門的な見地から保護者への説明を提供できるような体制を整えていくことが課題となっています。	継続		
2	3	1	図書館	図書の点訳・音訳	視覚に障がいのある子どもの読書のため、または視覚障がいの親が子どもに読み聞かせができるようにするため、ご希望の本を点訳・音訳し、提供します。	幼児～	なし	・絵本に点字の説明や毛糸(輪郭線)等を貼って、触っても楽しめるようにしたものを219冊貸出しました。 ・2016年度からディスレクシア(読み書き困難)の子どもでも読みやすい「マルチメディアデジター」の貸出を開始しました。 ・2014年度から、知的障がいや学習障がい等、本を読むのが難しい方に読みやすい本(LLブック)を購入し、貸出を開始しました。 ・障がい者サービスの啓発のため、夏休み期間中に、マルチメディアデジターの上映会を行い、まちだ図書館まつりでは、点字打ち体験、リーディングトラッカー(文字が読みやすくなる道具)制作、マルチメディアデジターの上映を行いました。	マルチメディアデジターについて、校長会への報告や一般の方への普及啓発を行いました。また、イベントの内容を変更し、点字だけでなく、学習障害、知的障害等に対する支援内容の啓発に努めました。	継続		
2	3	1	障がい福祉課	児童発達支援	日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練等の支援をします。	就学前の障がいのある児	なし	サービス提供事業者の増加とともに、利用者数も増加傾向になっています。	子どもの発達に関心が高まっていることと、地域の障がい者支援センター利用への周知ができています。	継続		
2	3	1	障がい福祉課	医療型児童発達支援	日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練等の支援及び治療をします。	上肢、下肢又は体幹の機能が不自由で、通書できる児	なし	安定した利用がありますが、近隣の事業者数が少ない状況があります。	事業者が少なく、利用しづらい状況があります。今後は、市内にも受け入れ事業所が立ち上がることが望まれます。	継続		

施策コード ※別シート参照			所管課	事業名	事業の概要	対象	子どもの 参画の 有無	実施状況	評価	今後の 見通し	理由	備考
2	3	1	障がい福祉課	放課後等デイサービス	学校(幼稚園、大学を除く)に就学しており、授業の終了後または休業日に支援が必要と認められた障がいのある児童に対して、放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のため必要な訓練や社会との交流促進を行います。	小～高等学校に就学している障がいのある児	なし	利用できる事業所が増え続けています。利用者数も増加し続けています。	発達障がいや軽度心身障害の児童の利用が増えています。重度障がい児童の利用の拡大が課題です。	継続		
2	3	1	障がい福祉課	障害児福祉手当	20歳未満で身体または精神に重度の障がいがあるため、日常生活に常時介護が必要な人に支給します。	20歳未満で身体または精神に重度の障がいのある方	なし	20歳未満で身体又は精神に重度の障がいがあり、日常生活において常時介護を必要とする障がい児及び障がい者に支給しました。	手当を支給することにより、福祉の増進を図ることができました。	継続		
2	3	1	障がい福祉課	特別児童扶養手当	日常生活に著しい制限を受ける20歳未満の障がい児を養育している人に支給します。	20歳未満で、日常生活に著しい制限を受ける障がい児を養育している方	なし	日常生活に著しい制限を受ける20歳未満の障がい児及び障がい者を養育している人に支給しました。	手当を支給することにより、福祉の増進を図ることができました。	継続		
2	3	1	障がい福祉課	重度心身障害者手当	常時複雑な介護を必要とする障がい児、障がい者に対し支給します。	常時複雑な介護を必要とする障がい児、障がい者	なし	常時複雑な介護を必要とする障がい児及び障がい者に支給しました。	手当を支給することにより、福祉の増進を図ることができました。	継続		
2	3	1	障がい福祉課	重度障がい児者医療連携事業	医療的ケアを必要とする人も含めた重度障がい児者を対象に、隣接する医療機関と連携し、家族の休息や緊急時のサービスとして一時預かりを行います。	重度障がい児者(医療的ケアを必要とする人も含む)	なし	事業者に補助を行い、一時預かりのサービスを市民に提供できました。	重度障がい児者を家族に持つ方の家族が安心して暮らせる環境づくりに寄与できました。	継続		
2	3	1	子ども総務課	児童育成手当(障がい)	一定の障がいを持つ児童を養育している家庭の経済的安定を支援することを目的に手当を支給します。	20歳までの一定の障がいを持つ児童を養育している家庭	なし	広報、子育てサイトへの掲載、町田市ひとり親家庭のしおりの配布等を通し、制度・申請・相談窓口の周知を図るとともに、手当を支給しました。	手当を支給することで、障がい児のいる家庭の経済的・精神的安定と自立の促進を支援しています。	継続		
2	3	1	子ども発達支援課	子ども発達センターの地域支援(再掲)	保育園・幼稚園等を対象に専門的な力量を向上させるため、研修及び助言をします。	出張相談の申し込みがあった幼稚園・保育園等	なし	保育園・幼稚園・認定こども園に訪問して、出張相談を62回、保護者の依頼に基づく保育所等訪問支援を75回実施しました。	特定のお子さんを対象とした相談とクラス運営に関する相談等、園や職員の支援を行いました。また、集団での適応を促すために保護者に計画相談で保育所訪問支援の利用を促すとともに、保育園・幼稚園等にも周知を行いました。その結果、保護者からの依頼で行う保育所等訪問支援の利用が増えました。	拡充		
2	3	1	子ども発達支援課	療育セミナー	保育園・幼稚園・学童保育クラブなどの職員に、障がいに対する理解や援助の方法を学ぶための講演会を開催します。	市内保育園、幼稚園、小学校、学童保育、放課後等デイサービス等関係機関の職員	なし	「重い障がいのある子の支援」「家庭や施設での障がい児の虐待防止」のテーマで2回実施しました。延べ67人の参加がありました。	「重い障がいのある子の支援」「家庭や施設での障がい児の虐待防止」といったテーマにしぼり、放課後等デイサービス事業所職員にも参加を呼びかけ実施しました。専門家のセミナーにより、重い障がい児への対応や虐待について、関係職員の認識が深まりました。	継続		
2	3	1	スポーツ振興課	まちだスポーツ広場	総合体育館で実施することのできるスポーツやパラリンピック正式種目であるポッチャなどの体験をすることで、身体を動かすことの楽しさや2020年東京パラリンピックへの興味や関心を深めます。	未就学児～高齢者まで(障がいをお持ちの方も可)	なし	7月・11月・12月・3月に障がいをお持ちの方から一般の方まで誰でも気軽にスポーツ(ポッチャ・バドミントン・バスケットボール)を楽しむことができる体験会を町田市立総合体育館で実施しました。5日合わせて248人の参加がありました。	各種目を体験し、楽しんでもらうことはもちろん、実施したスポーツの歴史やルール、パラリンピックの案内POPを掲示しPRすることで、パラリンピックに興味を持つ機会を提供することができました。障がいがある方の参加も増加傾向にあります。	廃止	2019年度から指定管理者が変更となるため。	
2	3	1	スポーツ振興課	チャレンジふれあいスポーツ教室	障がい児向けに運動器具を使用したスポーツを楽しむ場を設け、体力及び技術の向上を目指す体操教室を実施します。	障がいのある小学生	なし	4月～9月(全10回)・10月～3月(全10回)、参加者数2期合わせて47人を町田市立総合体育館で実施しました。	障がい児向け事業の充実を図るために、小学生障がい児向けの体操教室を全20回実施しました。障がい児でも楽しむことのできる種目(鉄棒・とび箱)を工夫して行うことで、体操に興味を持つ機会を提供することができました。	廃止	2019年度から指定管理者が変更となるため。	

施策コード ※別シート参照			所管課	事業名	事業の概要	対象	子どもの参画の有無	実施状況	評価	今後の見通し	理由	備考
2	3	1	スポーツ振興課	トリススポーツ！まちだ	障がいの有無に関わらず誰もが楽しめるパラスポーツ体験やアスリートとの交流を行ない、スポーツをより楽しむための技術取得を目的とするイベントを実施します。	未就学児～高齢者までどなたでも	なし	2/11に障がいの有無に関わらず誰もが楽しめるオリンピック・パラリンピック気運醸成イベントを町田市立総合体育館で実施しました。延べ6,197人の参加がありました。	2020年東京オリンピック・パラリンピック気運醸成イベントとして、オリンピアンによるスポーツ体験教室や楽しいトークショーを実施しました。また、「パラスポーツ体験」では、実際に車椅子に乗ってバドミントン等を体験できるよう内容を構成したことで、さまざまなスポーツに触れ合う機会を提供することができました。	継続		
2	3	2	学務課	就学援助費・就学奨励費	お子さんを小・中学校に就学させることが経済的に困難な家庭や特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者に対して、学用品費・給食費・入学準備金・修学旅行費など、学校でかかる費用の一部を援助します。	小・中学生の保護者	なし	申請を受けた児童生徒について所得の審査を行い、認定者について学用品費・給食費・入学準備金・修学旅行費等の援助を行いました。	認定者のご家庭においては、学校でかかる費用の経済的な負担を軽減することができました。	継続		
2	3	2	生活保護課	健全育成事業	都及び市の要綱に基づき(都10/10補助)、生活保護を受けている世帯の児童に係る、夏期休業中に行われる各種野外活動等の参加費、学童服・運動衣の購入費、修学旅行の参加費を支給することにより、当該児童の健全育成及びその者の属する世帯の自立助長を図ります。	小学生 中学生	なし	生活保護を受けている世帯の児童に係る、夏期休業中に行われる各種野外活動等の参加費、学童服・運動衣の購入費、修学旅行の参加費、合計1,777件、10,597,600円の支給を行いました。	生活保護法に基づく扶助と併せて、児童の健全育成に必要な支援を行うことができました。	継続		
2	3	2	生活保護課	就労支援	ハローワーク町田と共同で就労支援窓口「就労サポートまちだ」を開設し、職業紹介、求人情報の提供等、就労への支援を行います。	生活保護受給者、住居確保給付受給者、児童扶養手当受給者、生活困窮者自立支援法に基づく支援者(申請者及び相談者を含む)	なし	町田市と厚生労働省東京労働局及び町田公共職業安定所の3者で協定を締結し、生活保護受給者等に対して就労支援を一体的に実施するため、町田市庁舎1階に就労支援窓口「就労サポートまちだ」が2015年に設置されました。昨年度に引き続き、ハローワーク町田の就職支援ナビゲーター2人が常駐し、求人情報提供端末を設置して、最新の求人情報を提供し、的確な職業相談や職業紹介を行いました。	福祉部門と「就労サポートまちだ」が連携し、一体的にきめ細かい支援ができました。	継続		
2	3	2	子ども家庭支援センター	入院助産	経済的理由により出産費用がない妊婦が助産施設で出産する場合にその費用を市が本人に代わって支払います。	生活保護世帯、住民税非課税世帯	なし	18世帯の申請を受け付けました。	出産費用を助成することにより、経済的困難をかかえる家庭に対し、子育て支援に寄与しています。	継続		
2	3	2	子ども家庭支援センター	母子・父子及び女性福祉資金	ひとり親家庭の方が経済的に自立して安定した生活を送るために必要な資金の貸付を行います。	ひとり親家庭の母または父、及び配偶者のいない女性	なし	新規貸付件数は1件でした。	貸付を通じてひとり親家庭の経済的自立と安定した生活を送るための支援をしています。	継続		
2	3	2	子ども総務課	ひとり親家庭等医療費助成制度	児童を養育しているひとり親家庭、または父か母が重度の障がい有する家庭に対して、健康保険の自己負担分の医療費を助成します。	18歳までの児童(一定の障がいがある場合20歳)を養育しているひとり親、または父か母が重度の障がい有する家庭	なし	広報、子育てサイトへの掲載、町田市ひとり親家庭のしおりの配布等を通し、制度・申請・相談窓口の周知を図るとともに、医療費を助成しました。	医療費を助成することで、ひとり親家庭の経済的・精神的安定と自立の促進を支援しています。	継続		
2	3	2	子ども総務課	児童育成手当(育成)	児童を養育しているひとり親家庭、または父か母が重度の障がい有する家庭の経済的安定と自立の促進を支援することを目的に手当を支給します。	18歳までの児童(一定の障がいがある場合20歳)を養育しているひとり親、または父か母が重度の障がい有する家庭	なし	広報、子育てサイトへの掲載、町田市ひとり親家庭のしおりの配布等を通し、制度・申請・相談窓口の周知を図るとともに、手当を支給しました。	手当を支給することで、ひとり親家庭の経済的・精神的安定と自立の促進を支援しています。	継続		
2	3	2	子ども総務課	児童扶養手当	児童を養育しているひとり親家庭、または父か母が重度の障がい有する家庭の経済的安定と自立の促進を支援することを目的に手当を支給します。	18歳までの児童を養育しているひとり親、または父か母が重度の障がい有する家庭	なし	広報、子育てサイトへの掲載、町田市ひとり親家庭のしおりの配布等を通し、制度・申請・相談窓口の周知を図るとともに、手当を支給しました。	手当を支給することで、ひとり親家庭の経済的・精神的安定と自立の促進を支援しています。	継続		
2	3	4	子ども家庭支援センター	地域ネットワーク機能強化事業	町田市子育て支援ネットワーク連絡会は要保護児童地域対策協議会として位置づけられています。研修を年2回開催します。	町田市子育て支援ネットワーク会員	なし	年2回新任者向け及びスキルアップの研修を実施しました。計176人が参加がありました。	新任者に子育て支援ネットワークの役割を理解してもらい、ベテラン会員のスキルアップを図ることができました。	継続		

施策コード ※別シート参照			所管課	事業名	事業の概要	対象	子どもの参画の有無	実施状況	評価	今後の見通し	理由	備考
2	4	1	各課	ホームページ(キッズページ)	子ども・子育てに関するさまざまな情報をわかりやすく掲載します。	小学生、子育て中の保護者	なし	キッズページでは町田市の人口や面積等の統計情報や市の仕事を庁内各課がわかりやすく掲載しました。	2017年度より子育てサイトからイベント情報等を発信しています。	継続		
2	4	1	福祉総務課	みんなのおでかけマップ	「みんなのトイレ」が整備されている施設を中心に市内全域のバリアフリー設備情報を掲載します。	市民全体	なし	市内全域への配布を継続して実施しました。	利用者にとっての使いやすさ、見やすさの観点から、2018年度版からA1版地図(八つ折)形式に変更しました。また、2018年度版から隔年更新ではなく毎年更新とし、最新情報を提供できるようにしました。	継続		
2	4	1	3R推進課	ごみナクナーレ	子どもからお年寄りまで幅広い世代に、ごみの減量と資源化を楽しみながら取り組んでもらえるように、市民や市民団体の取り組み事例を中心に、ごみに関する情報をわかりやすく伝えます。	小学生～大人	なし	イベント情報やごみ減量の取組などを積極的に発信し、市民や市民団体が自ら取り組めるような仕組みなどを作ることができました。2回発行(8月と2月)、6団体の取り組み、個人3人のごみ減量アイデアを紹介しました。	多くの市民に対して、身近な視点でごみ減量や分別を行うことの大切さを伝えることができました。2019年2月号では、保育園での取り組みも紹介することができました。	継続		
3	1	1	生涯学習センター	家庭教育支援事業	地域ぐるみの家庭教育支援につながるよう、地域の家庭教育・子育て支援の担い手となるグループを育成します。	子育て中の保護者	なし	5団体が活動し、生涯学習センターで得た知識を活用して、乳幼児の保護者向け講座と、親子対象のひろばの企画、運営を行いました。また、地域の家庭教育支援活動の担い手になるために必要な知識や技能の習得に向けて、講師を招いての学習会や、グループワークを行いました。	3団体が幼児の保護者向け講座と、親子向けひろばの企画、運営を行い好評を得ました。新規の2団体は家庭教育支援の担い手になることを目標とした学習を実施し、翌年度の継続学習につなげることが出来ました。また、学習活動を修了した受講生がサークル化し、地域の課題解決する講座にチャレンジする予定のほか、今後の生涯学習センター家庭教育支援事業にボランティアスタッフとして関わります。	継続		
3	1	1	生涯学習センター	生涯学習センター事業	さがまちカレッジなど、相模原・町田地域の大学と連携し、さまざまな体験学習講座を実施します。	小学1年生～中学1年生	なし	子どもセンターとの共催で、ただONでは「クリスマス飾りを作ろう」、ばあんでは「観光の仕事につながる学びを体験しよう!」、まあちでは「プラ板で自分だけのオリジナル・キーホルダーを作ろう」、ばおでは「エネルギーについて つくる、ためる、つかうを体験する」の講座を開催し、受講者数は計66人でした。また、ただONでは東京家政学院大学、まあちでは女子美術大学、ばおではサレジオ工業高等専門学校の学生がアシスタントとして、小学生に指導を行いました。(ばあんの講座は学生のアシスタントなし)	4講座のうち2講座は申込率が100%を超え、抽選となっており、受講率は全ての講座で100%と大変好評でした。また、近隣の学生がアシスタントとして参加したことで、講師と小学生との橋渡し役となり、大変画期的な講座となりました。	継続		
3	1	1	子ども家庭支援センター	在宅サービス基盤整備事業	養育家庭の新規開拓と養育家庭に関わる人の理解と協力を促進するために、体験発表会を実施します。また、普及活動の一環として、市内イベントにも参加し、PRを展開します。	市民	なし	里親月間である11月に体験発表会を開催し、101人の参加がありました。「エコフェスタ」および「まちカフェ」にブースを出展し、養育家庭に関するリーフレットなど市民の方に約1,000部配布しました。	体験発表会では里子の体験談も発表していただき、市民の方に考えていただく良い機会になりました。イベントではリーフレットなどを市民に直接配布し制度についてPRしました。足を止めて熱心に質問などしていただいた方もいました。	継続		
3	1	1	スポーツ振興課	ジュニアフットサルスクール	トップレベルのプロ選手から基礎技術を学びます。	3歳～小学生	なし	年49回の教室を町田市立総合体育館で実施しました。年間通して延べ人数2,435人の参加がありました。	現役で活躍しているプロ選手に見てもらうことで、レベルの高い技術指導を受ける機会を提供することができました。	継続		
3	1	1	スポーツ振興課	ジュニアテアリーディングスクール	トップレベルの指導員から基礎技術を学びます。	小学生	なし	2018年度事業計画に沿って、年42回の教室を町田市立総合体育館で実施しました。年間通して延べ人数861人の参加がありました。	ベスカドーラ町田テアリーディング専任講師からリズム感や表現力を学ぶことで、基礎技術および自分を表現する力を養う機会を提供することができました。徐々に参加者数が増えてきております。	継続		
3	1	1	スポーツ振興課	ジャイアンツアカデミー指導による少年野球教室・指導者講習会	青少年の育成の一環として、未来ある子どもたちに専門的な技術指導を受ける機会を作る。株式会社読売巨人軍のジャイアンツアカデミー指導員を講師とすることで、野球の「打つ」「投げる」「捕る」「走る」の基本動作の習得をより正確に行なう。また、少年野球指導者に対して、より専門性の高い指導方法を紹介することで、教室後も各チームの技術力向上に繋げていく。	年中～小学2年生	なし	町田市少年野球連盟にご協力いただき、野球の楽しさを実感してもらった野球体験教室を実施しました。149人の参加がありました。	野球の楽しさ、魅力をお伝えすることができました。	廃止	2019年度から指定管理者が変更となるため。	

施策コード ※別シート参照			所管課	事業名	事業の概要	対象	子どもの参画の有無	実施状況	評価	今後の見通し	理由	備考
3	1	2	指導課	職場体験	総合学習の中で、事前に派遣先の事業所について調べ学習を行い、5日間就労体験をします。体験後、事業所へのお礼の文書および報告書を作成します。	市立中学校2年生	なし	町田市立中学2年生の生徒3,341人が9月、11月、1月の3期に分かれて1,228事業所(延べ数)で、5日間職場体験を行いました。	生徒達にとって、「仕事」を考える一つのきっかけになりました。アンケート調査では、これからの中学校生活を頑張ろうと思える生徒の割合が50.1%(事前)→87.8%(事後)と大きく増える結果となっており、今後の学校生活への意欲にもつながったと思います。	継続		
3	1	2	スポーツ振興課	早朝ジュニアテニスレッスン	基礎運動能力の向上から、テニスの基礎など、楽しく運動を始めるきっかけづくりと、夏休みの正しい生活サイクルの一助として実施いたします。	未就学児～小学生	なし	7月～8月の土日早朝に6回実施しました。定員総数120人のところ、延べ参加人数は43人でした。	夏休みの比較的涼しい朝にと、ジュニアテニスレッスンを企画・実施しました。初めてでも、楽しく学べる内容とし、テニスに興味を持ってもらうことを目標としました。結果別日も予約し、連続で参加される方も多くいらっしゃいました。また、早起きのお手伝いもできました。	廃止	2019年度から指定管理者が変更となるため。	
3	1	2	スポーツ振興課	チャレンジマッスル2018	夏休み子どもフェアの一環として、スポーツに親しみきっかけを作り、地域の交流を図るために、スポーツ体験や共同制作などさまざまなイベントを行います。	未就学児～高齢者までどなたでも	なし	8/7に子どもを中心に誰もが参加できる総合イベントとして町田市立総合体育館で実施しました。延べ人数14,582人の参加がありました。	各コーナーでさまざまなスポーツ体験ができるように内容を構成したことで、「スポーツに触れ合う機会」や「子どもの体力向上のきっかけ作り」を提供することができました。町田市立総合体育館で実施する「チャレンジマッスル」は集客力があり、夏休みの子どもイベントとして幅広く市民に定着してきていると感じています。	継続		
3	1	2	スポーツ振興課	まちだ★子どもフェスタ	こどもの日において、こどもたちがスポーツに親しみきっかけを作り、地域の交流を図るために、スポーツ教室や体操などさまざまなイベントを行います。	未就学児～高齢者までどなたでも	なし	こどもの日の5/5に子どもを中心に誰もが参加できる総合イベントとして町田市立総合体育館で実施しました。延べ人数14,713人の参加がありました。	さまざまなスポーツを体験する「チャレンジゾーン」を新設しました。また、町田市スポーツ振興課の基本理念「スポーツで人とまちが一つになる」を基軸とし、「する」スポーツ、「観る」スポーツ、スポーツを「支える」の3つの場面から地域住民のスポーツ振興の推進を図るべく、ゾーンごとにそれぞれ特徴を打ち出しました。また、まちだサポーターズに協力をいただき、「支える」スポーツの機会の提供を行いました。	継続		
3	1	3	生涯学習センター	生涯学習センター事業	さがまちカレッジなど、相模原・町田地域の大学と連携し、さまざまな体験学習講座を提供します。	おおむね年中～小学生	なし	夏休みに実施する「こども体験講座」を中心に、「簡単なバッグを作ろう」、「花びらでTシャツを染めてみよう」、「動物の頭の骨を観察してみよう！」の3講座を開催し、参加者数は延べ61人でした。	3講座のうち2講座は申込率が100%を超え、抽選となっており、受講率は全ての講座で90%以上と大変好評でした。	継続		
3	1	3	農業委員会事務局	米作り農業体験	昨今、市民が自然に触れる機会が減少しています。田植え・稲刈りといった作業を体験することで、自然への親しみ・農業の大切さというものを体感し、農業への理解を深めてもらうために実施します。	市内在住の親子及び一般市民	なし	米作り農業体験の募集をしたところ、13組32人の応募があり、田植え、草取り、稲刈り、収穫祭の体験を実施しました。	田植えから収穫祭にいたる、米作りの作業から食するまでを体験することで、農業や食の大切さへの理解を深めてもらう機会を提供できました。	継続		
3	1	4	高齢者福祉課	高齢者と近隣保育園児等との交流(再掲)	近隣保育園の園児達が各高齢者福祉センターへ来館し、歌やダンスや劇をセンター利用者の高齢者の方々に披露します。また、高齢者と園児達が一緒に手遊びやゲームを楽しみ、交流を図ります。	けやき館：近隣(こうさぎ保育園)の園児 いちよう館：近隣(大蔵保育園)の園児 くぬぎ館：近隣(山崎保育園)の園児	なし	けやき館では、毎月1回(第3水曜日)、年間12回実施し、毎回高齢者10～15人、園児20人程度が参加しました。いちよう館では、年間8回実施し、毎回高齢者約30～40人、園児約25人が参加しました。くぬぎ館では、インフルエンザ流行等により中止とした回もありましたが、年間6回実施し、合計で117人の園児が参加して高齢者との交流を楽しみました。	核家族や単独世帯が多くなっている中で、世代間のふれあい・交流の機会を地域に確保していく必要があります。館の利用者(高齢者)、園児ともに交流を楽しみにしており、相互にとって良い刺激になっています。	継続		
3	1	4	児童青少年課	子どもセンター事業(再掲)	キャンプやスポーツなどさまざまな体験を通じて、子ども同士から大人まで幅広く交流できる場を提供します。	幼児～18歳	運営	子どもセンターばおでは、防災段ボール合宿を実施しました。子ども同士協力しながら、限られたものを活用し一晩を過ごすことができました。その他、各子どもセンターにおいても、大地沢青少年センターでの宿泊キャンプやボランティア指導による調理活動など、様々な体験の機会を提供いたしました。	子どもセンター事業を通して、子ども同士から地域の大人まで、様々な年代の方が交流する機会となり、満足度も目標を上回りました。今後も、地域の方に協力をいただきながら、様々な方と交流できる機会を増やしていきます。	継続		

施策コード ※別シート参照			所管課	事業名	事業の概要	対象	子どもの参画の有無	実施状況	評価	今後の見通し	理由	備考
3	1	4	児童青少年課 (ひなた村)	ひなた村イベント事業(大規模イベント)(再掲)	野外体験など集団活動を通じて、思いやりや協調性、コミュニケーションをはぐむ場を提供します。	青少年とその保護者・指導者	運営	春のひなた村まつり、フレッシュコンサート、ひなた村祭、人形劇公演、もちつきを楽しもう会、創作童話コンクール表彰式の6イベントを開催し延べ8,061人が参加しました。	6イベントでアンケートを実施し、平均81.3%が満足との結果が出ました。2019年度からは指定管理者がイベントの企画運営及び利用者満足度の測定を行います。	継続		
3	1	5	子育て推進課	地域子育て相談センター事業*	マイ保育園事業の推進、アウトリーチ(出張子育て相談等)を中心に、子育て関連施設の運営支援、専門部署との連携により、地域全体で子育てを支援する体制の充実を図ります。	就学前の子育て家庭	なし	地域の子育て家庭を対象としてマイ保育園事業の推進、アウトリーチ(出張子育て相談等)を中心に、子育て関連施設や専門機関との連携を実施しました。また、マイ保育園登録後に子育てひろばの利用をしていない「潜在家庭」の調査を開始しました。	マイ保育園の登録率は44.5%となり、昨年の40.4%から増加しました。専門職を中心とした育児講座は各機関からの依頼が増えました。今後は相談スキルを各機関に伝えていく機会を多く持ち、地域全体の底上げに取り組んでいきます。また、「潜在家庭」へのアプローチ方法についても適宜見直ししながら必要に応じた支援を行っていきます。	継続		
3	2	1	指導課	セーフティ教室	小学校、中学校において、児童・生徒の健全育成の活性化および充実を図るとともに、保護者・市民の参加のもとに、家庭・学校・地域社会の連携による非行・犯罪被害防止教育を推進します。	市立小・中学校、全児童・生徒および保護者・地域住民	なし	小学校、中学校において、児童・生徒の健全育成の活性化および充実を図るとともに、保護者・市民の参加のもとに、家庭・学校・地域社会の連携による非行・犯罪被害防止教育を推進します。	全小・中学校において、警察をはじめ関係機関の方から非行・犯罪防止等についての指導をしていただきました。事例をもとに、映像資料やロールプレイ等で具体的に指導をしていただき、児童・生徒の規範意識や防犯意識を高めることにつながりました。より多くの保護者や地域への方に参加してもらおうことが課題です。	継続		
3	2	1	学務課	通学路の防犯カメラ	犯罪等を抑止し、児童が安全・安心に通学できることを目的として、市立小学校の通学路に防犯カメラを整備します。	小学生	なし	2014～2017年度の4ヶ年で、市立小学校全42校の通学路に防犯カメラ(1校あたり5台)を整備しました。	学校、地域等が行う通学路における児童の見守り活動を補完することができました。	廃止	2017年度で事業完了のため	
3	2	1	市民生活安全課	交通安全啓発活動	交通安全に関する啓発用品を配布し、通学時等の交通事故防止を呼びかけます。	小学1年生	なし	42校の市立小学校に対して、計3,318個のオリジナル反射リストバンドを配布し、新入学児童への啓発を行いました。	反射材を身に着けると、車のライト等を反射し、ドライバーに対して自身の存在を示すことができるので、夕暮れ時や夜間の交通事故を防止する効果があります。また、リストバンドには町田市の交通安全標語「わたる前 とまった車に 目であいさつ」を印字しており、子ども達の交通安全意識を高める工夫をしています。次年度以降も継続して配布していく予定です。	継続		
3	2	1	市民生活安全課	不審者・犯罪情報	町田市メール配信サービスにて、市内で起きた不審者出没や犯罪発生情報を配信します。	小学生～高校生とその保護者	なし	町田市安全安心まちづくり推進計画に基づき、町田市メール配信サービスにて、市内の犯罪発生情報の配信を61回実施しました。	子どもたちの安全安心の確保のため、注意喚起することができました。	継続		

*「町田市子ども・子育て支援事業計画」に記載されている事業です。